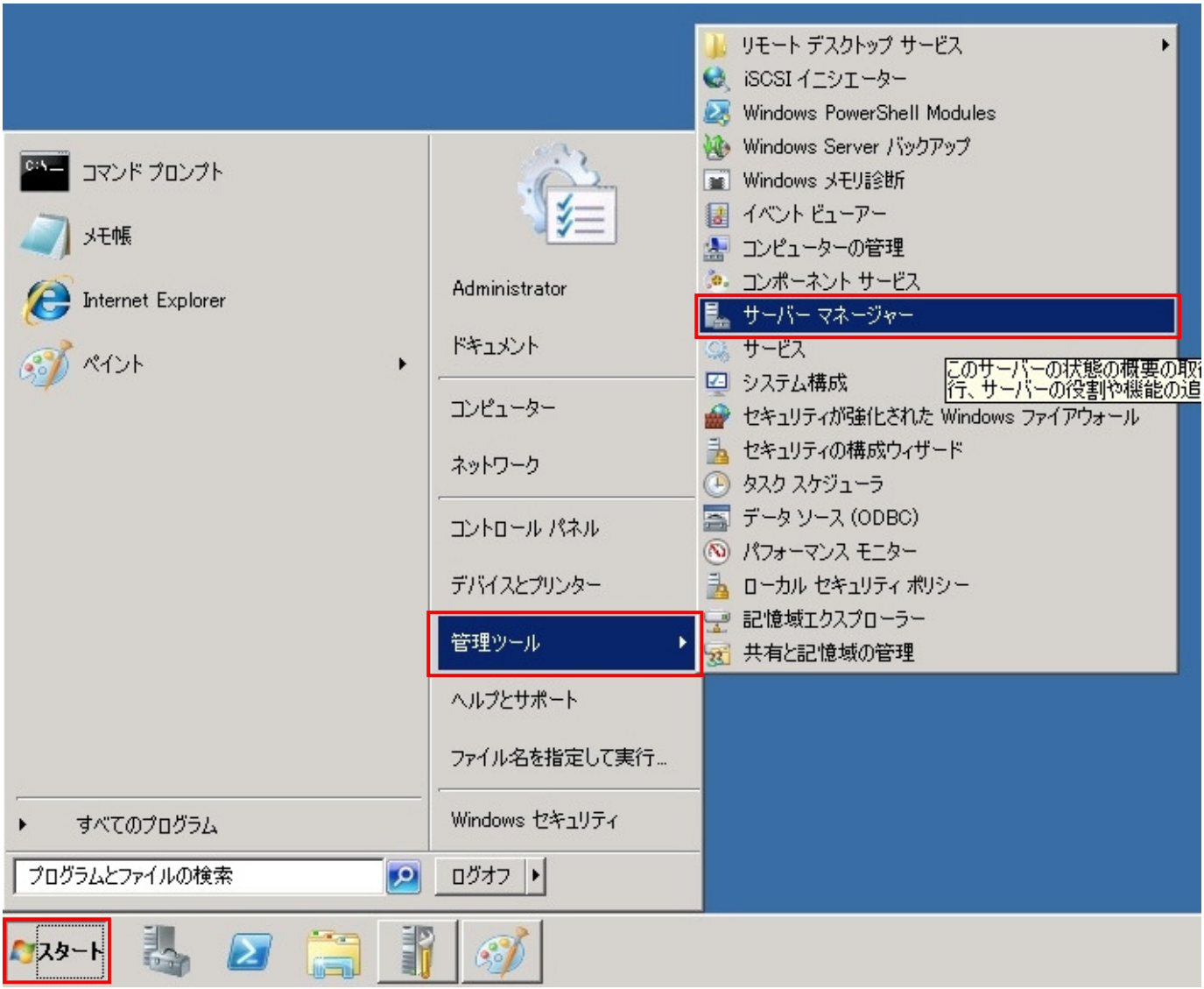
Cloud Gate SSO
Active Directory 設定手順書
(Windows Server2008 R2 Standard Edition)

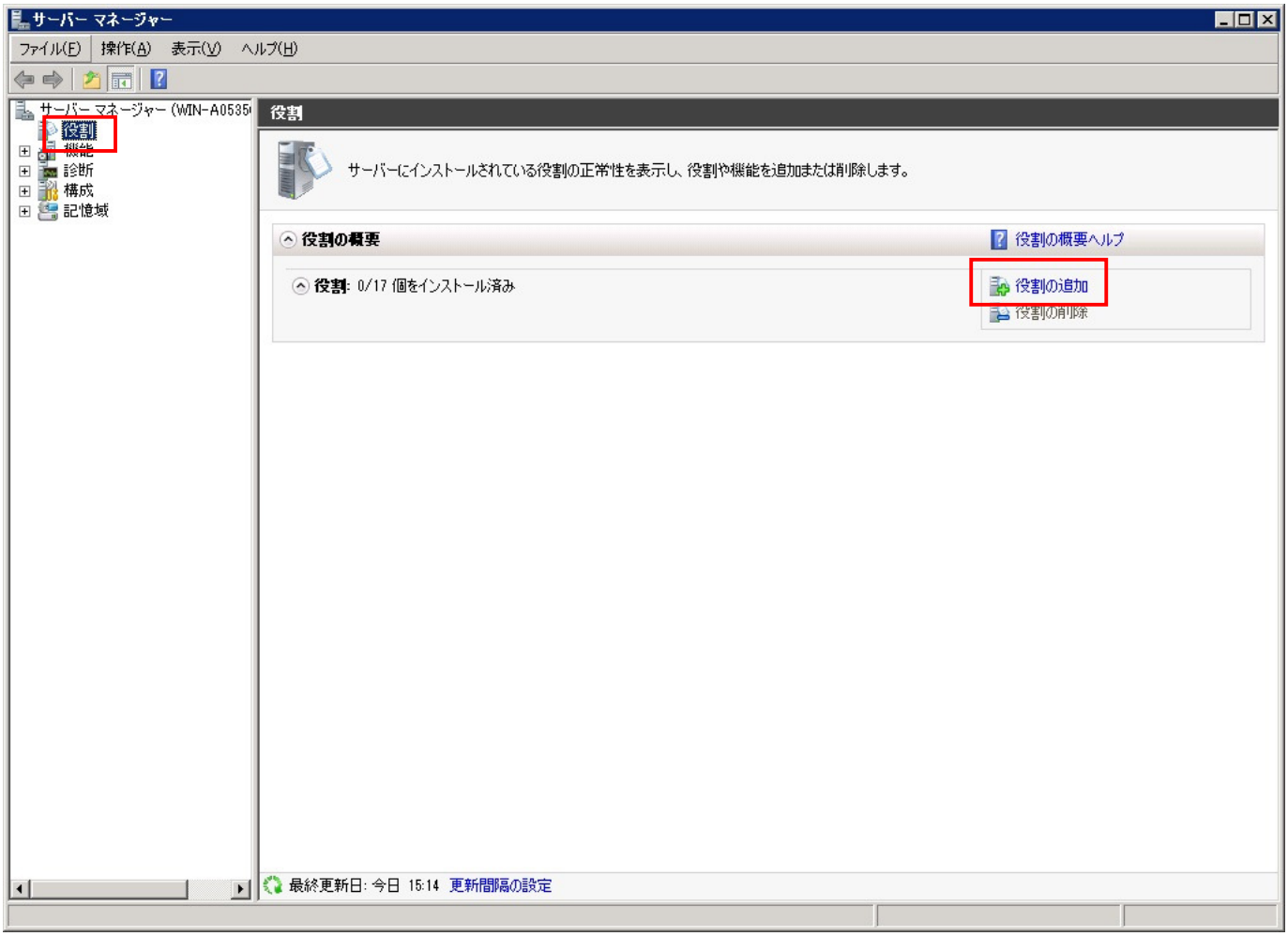
1. Active Directory 証明局のインストール

※既にインストールされている場合はこの手順は不要です。

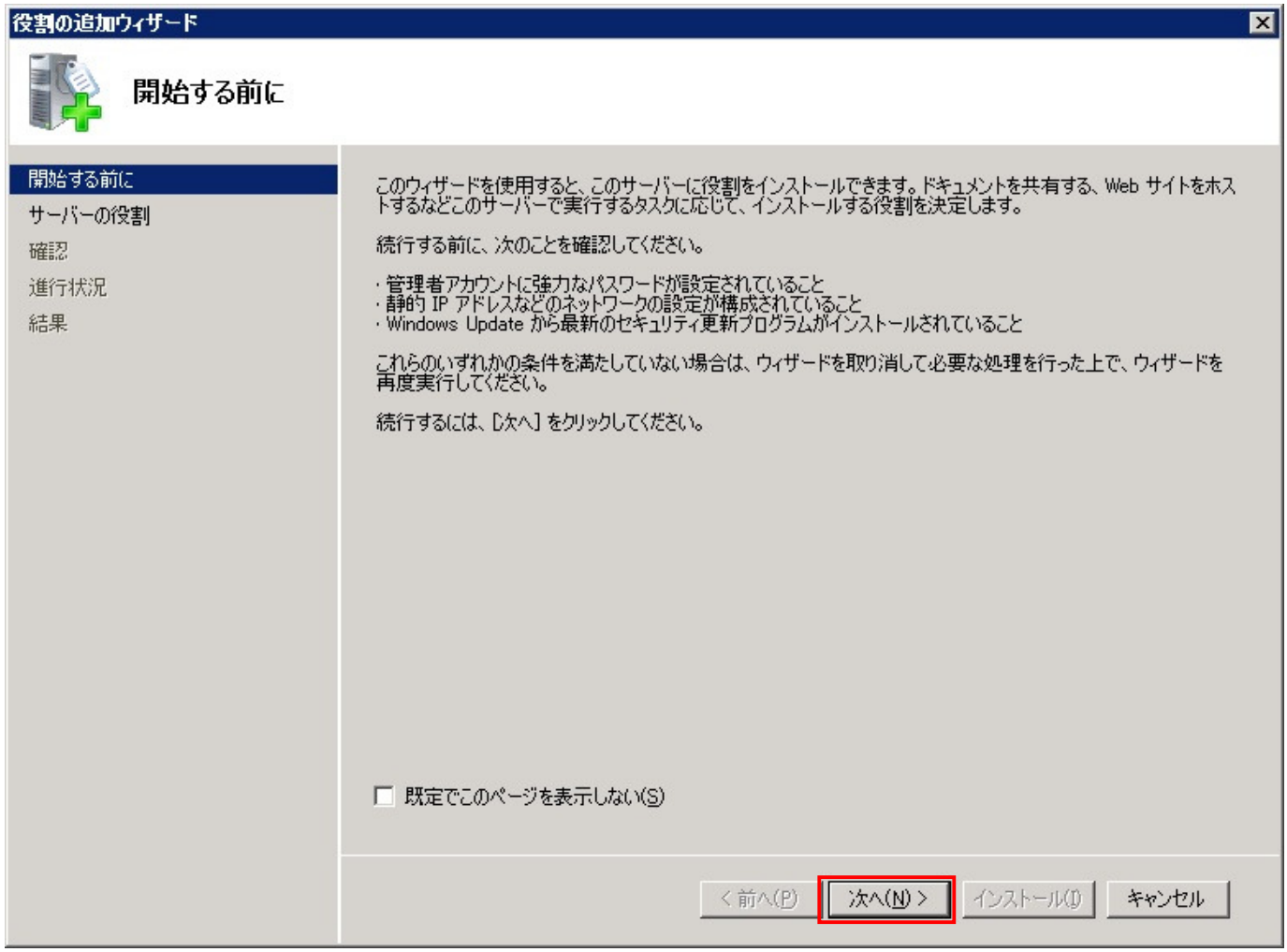
※Windows Server のインストールディスクが求められる場合があります。



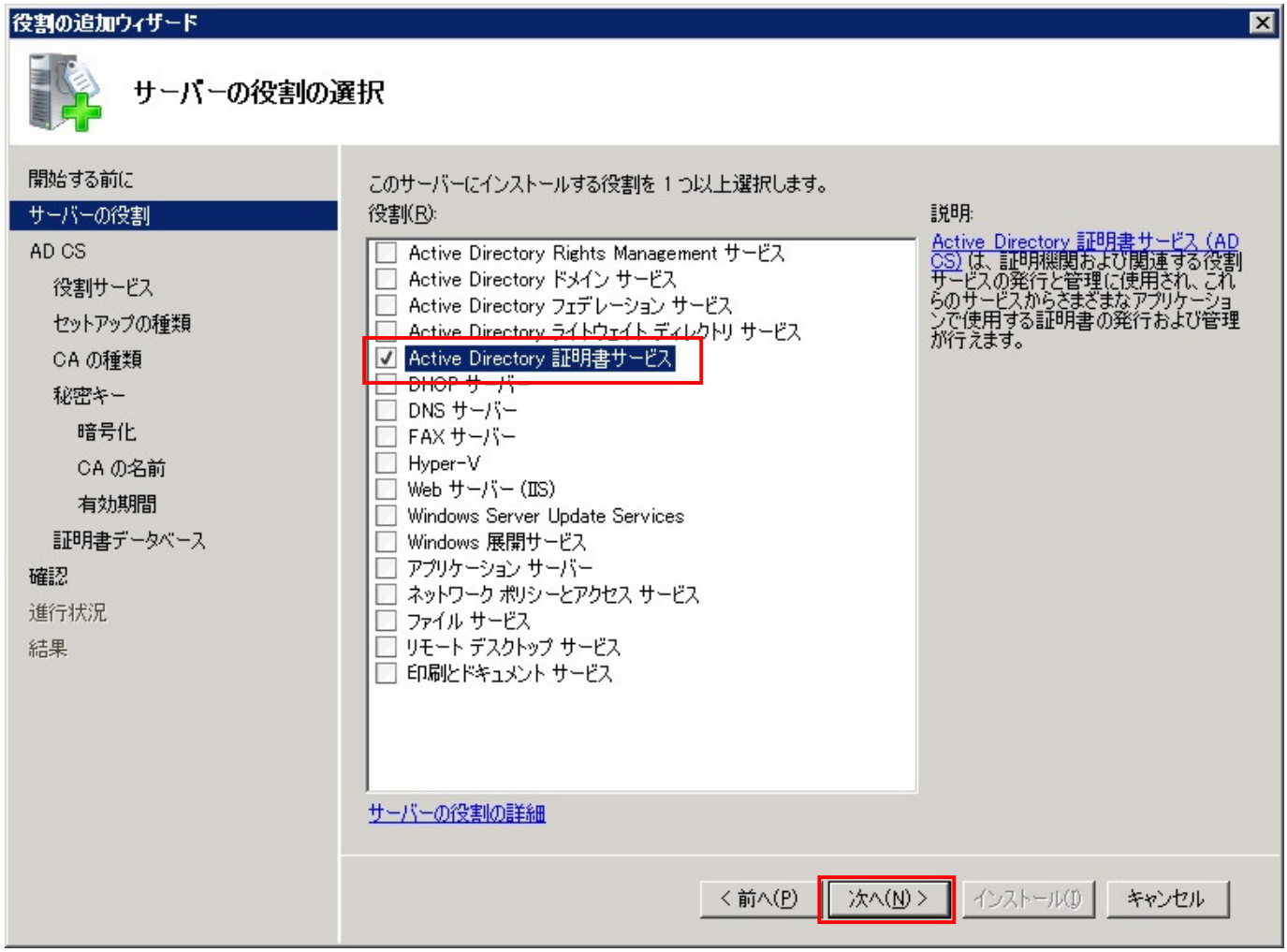
スタートメニューから「管理ツール」→「サーバーマネージャー」を起動します。



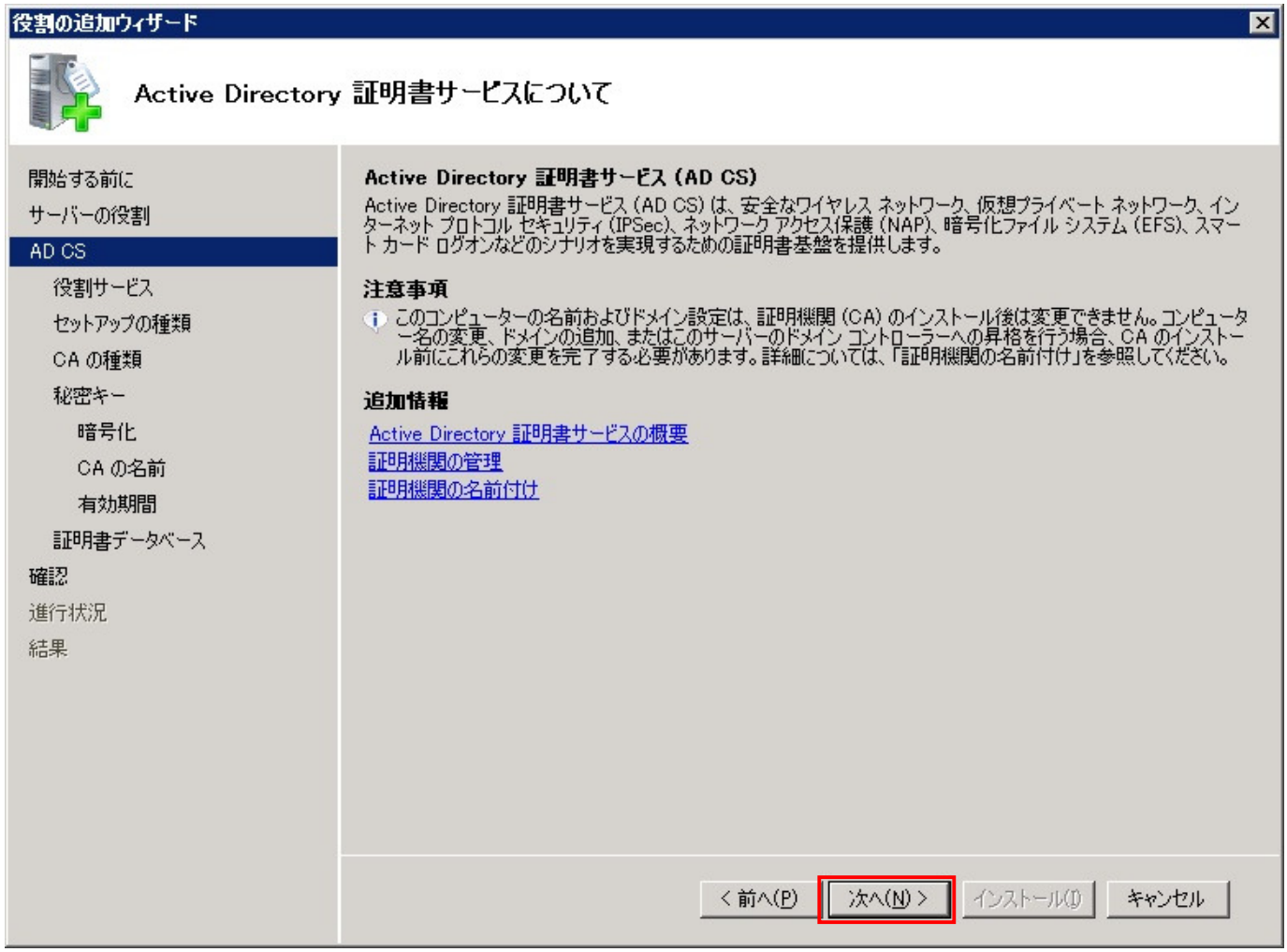
左ペインから「役割」を選択し、表示された右ペインの「役割の追加」をクリックします。



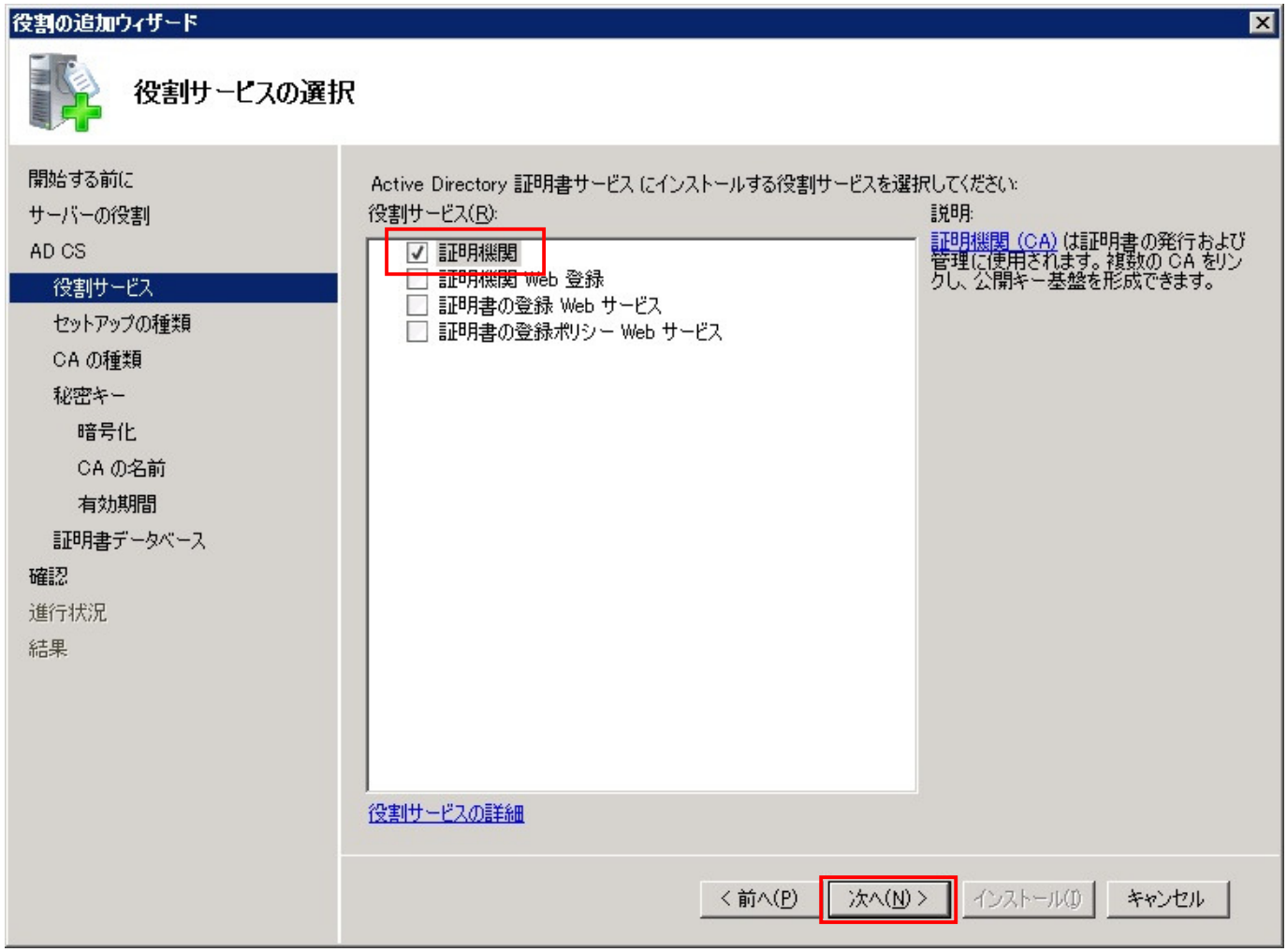
「次へ」をクリックします。



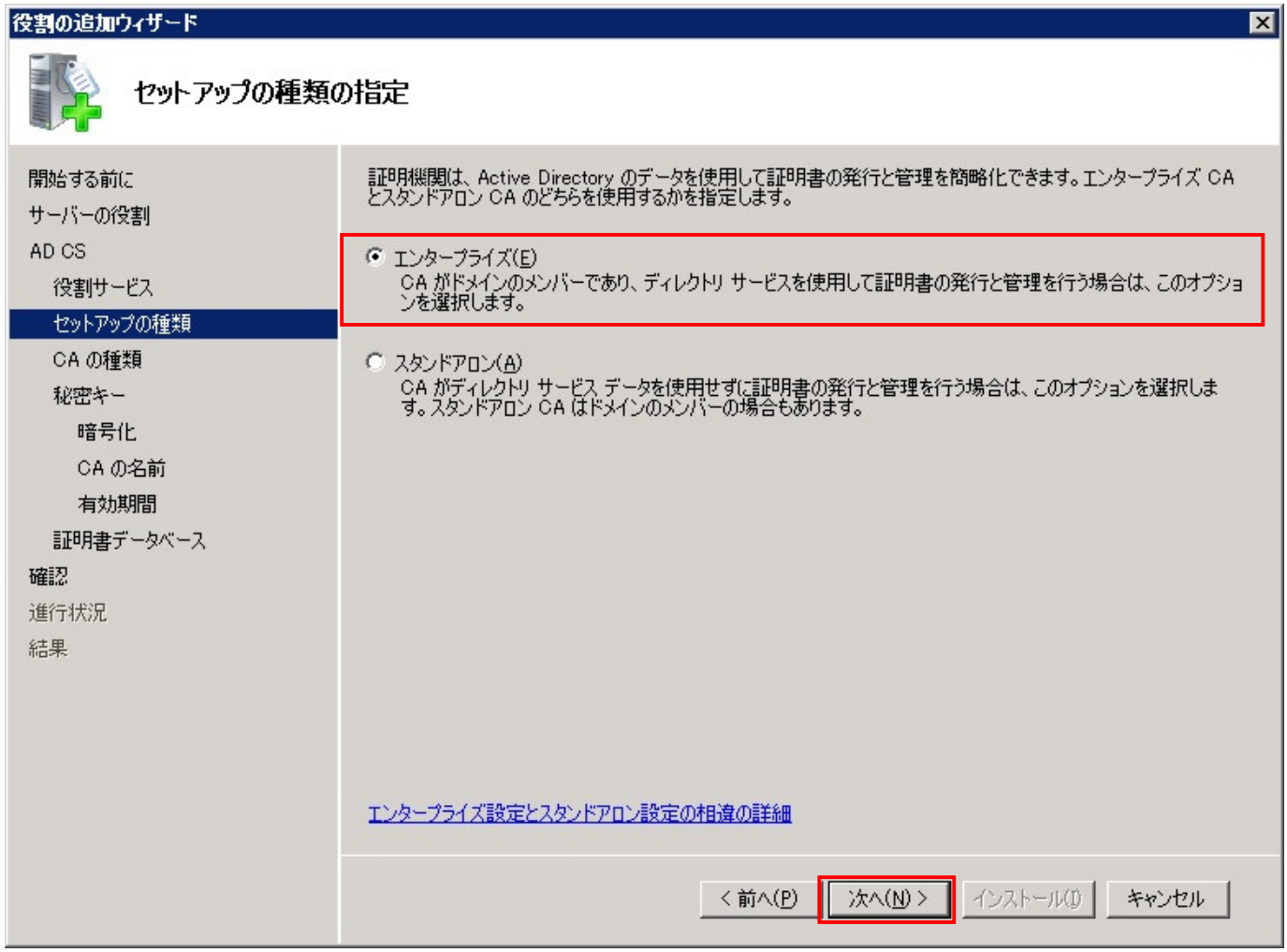
「Active Directory 証明書サービス」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



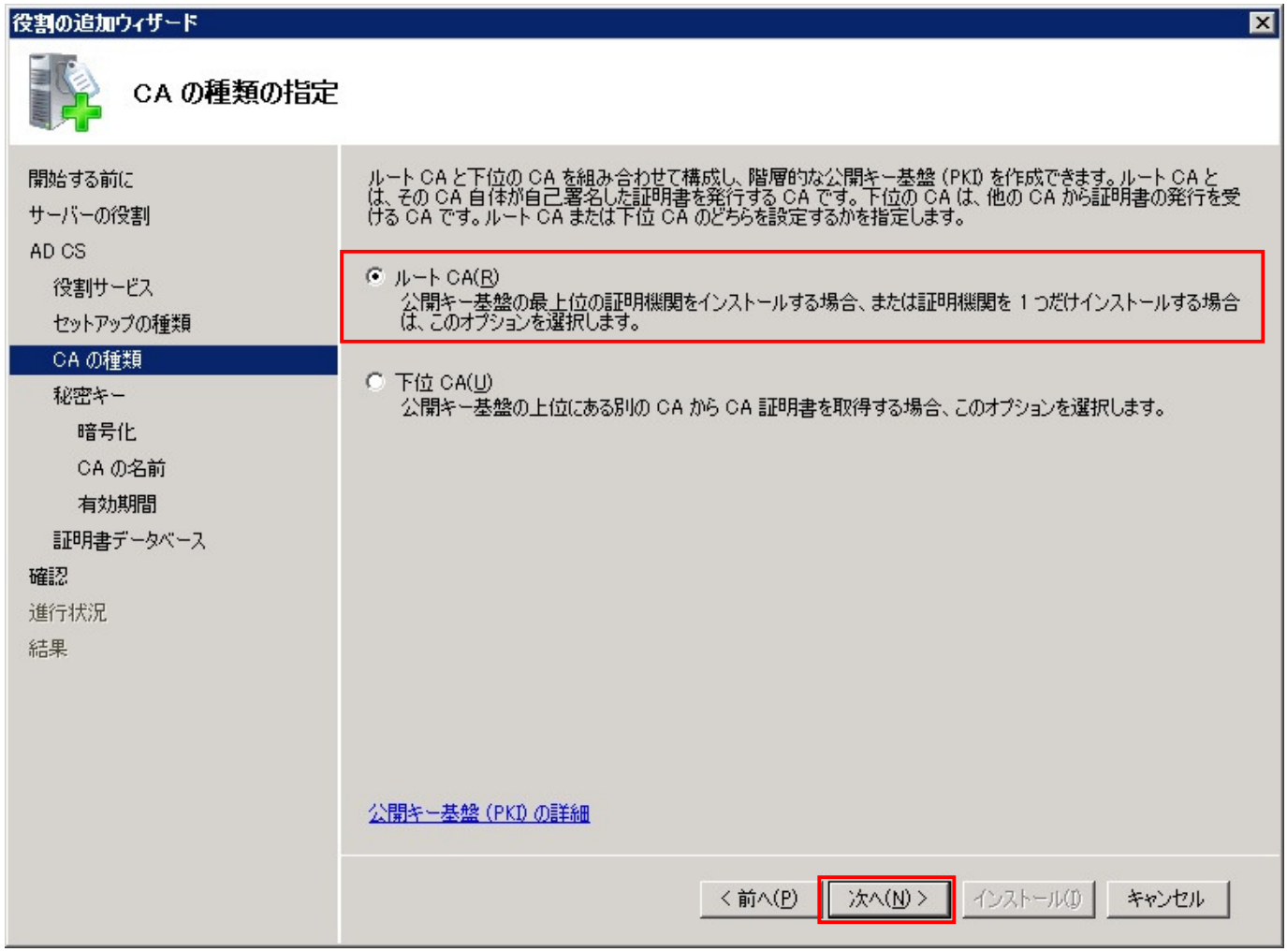
「次へ」をクリックします。



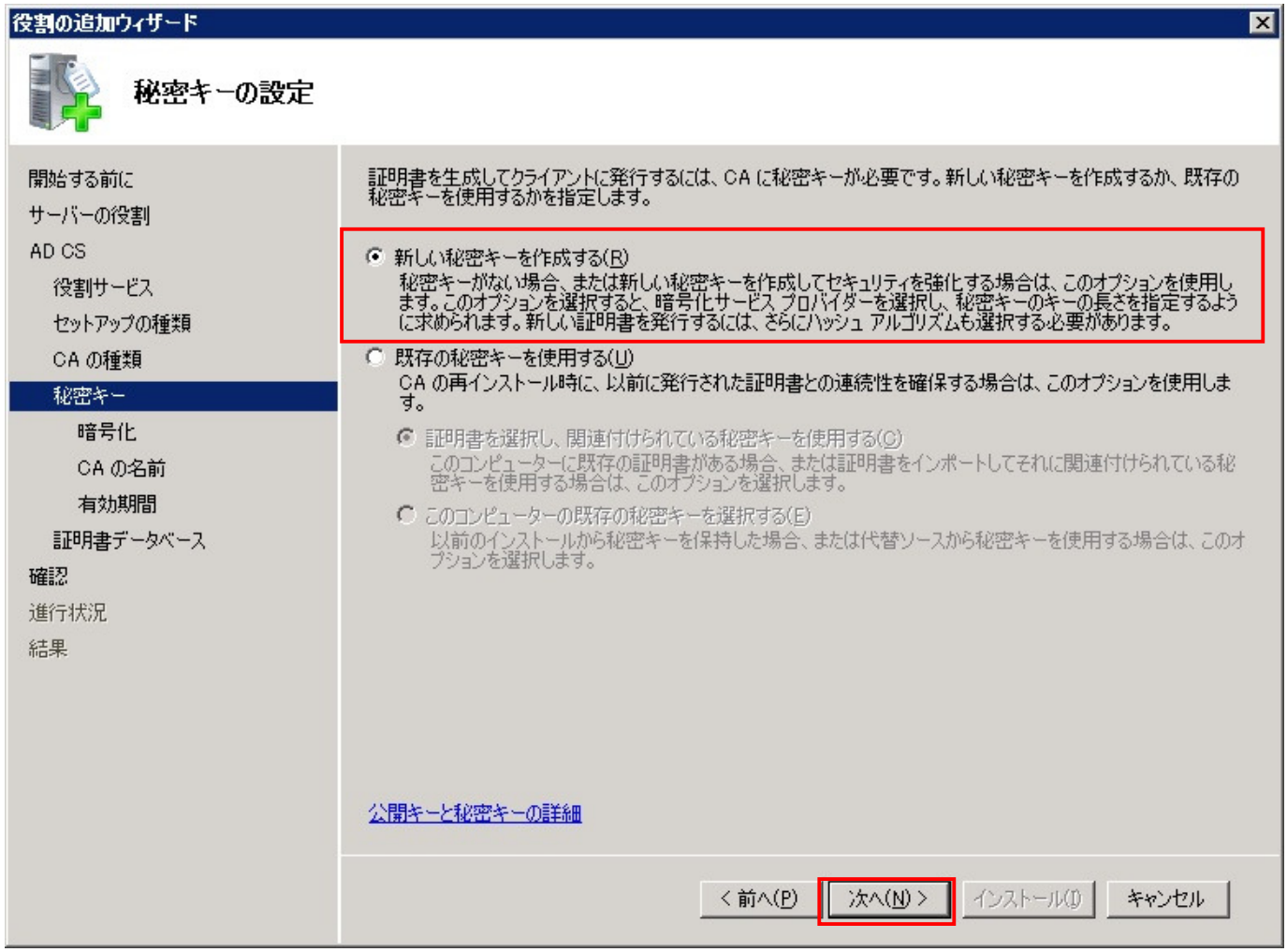
「証明機関」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



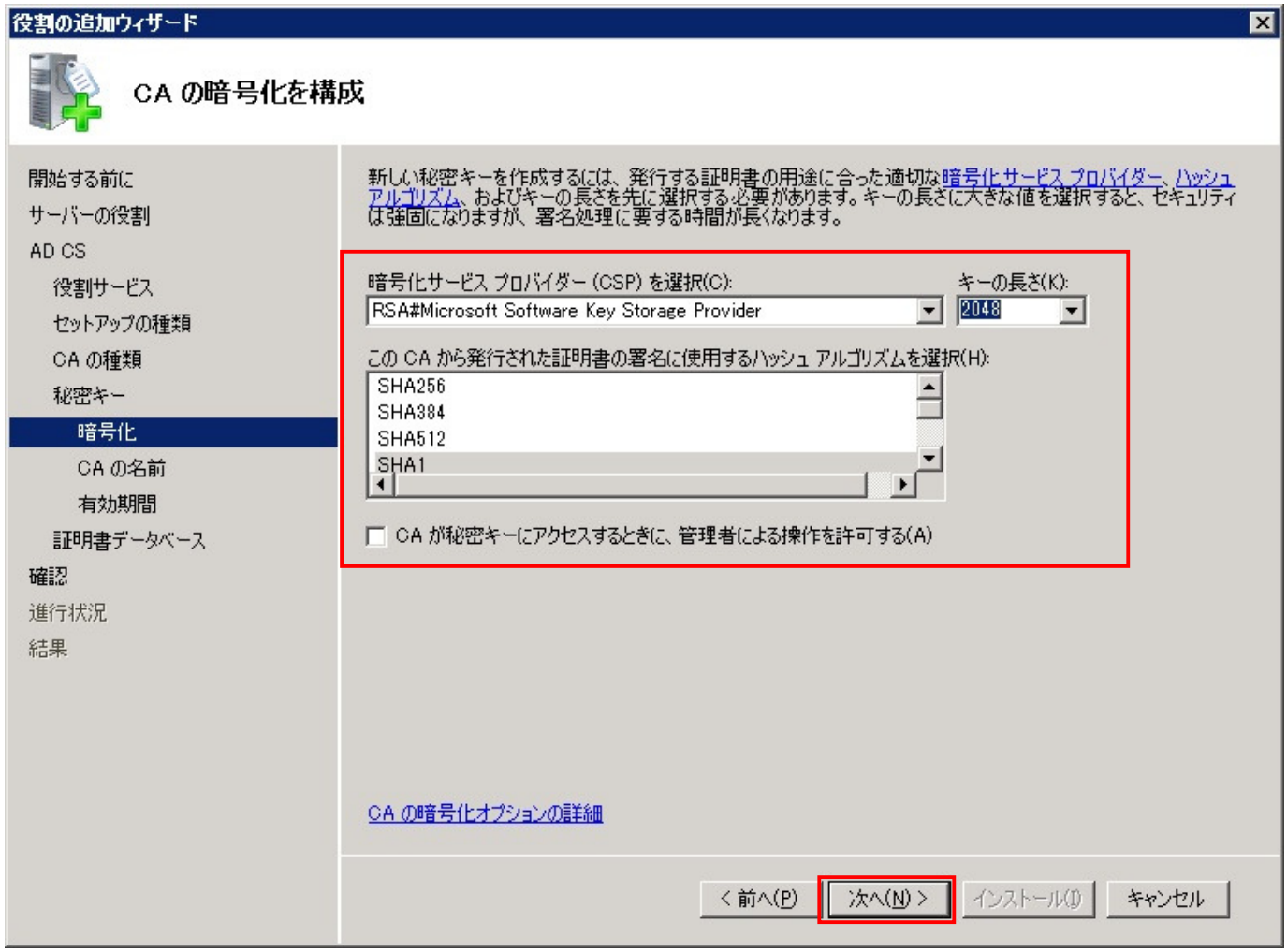
「エンタープライズ」を選択し、「次へ」をクリックします。



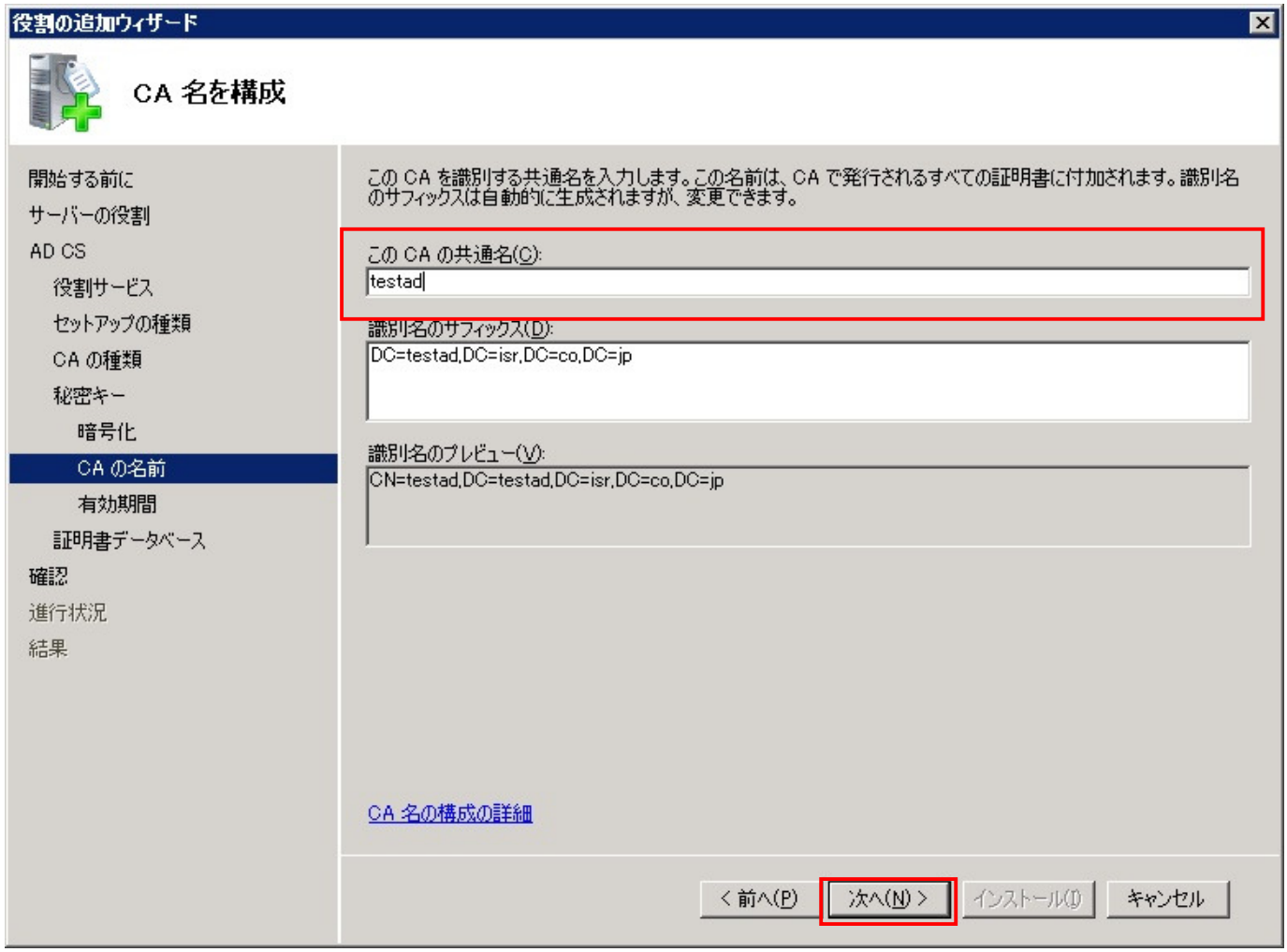
「ルート CA」を選択し、「次へ」をクリックします。



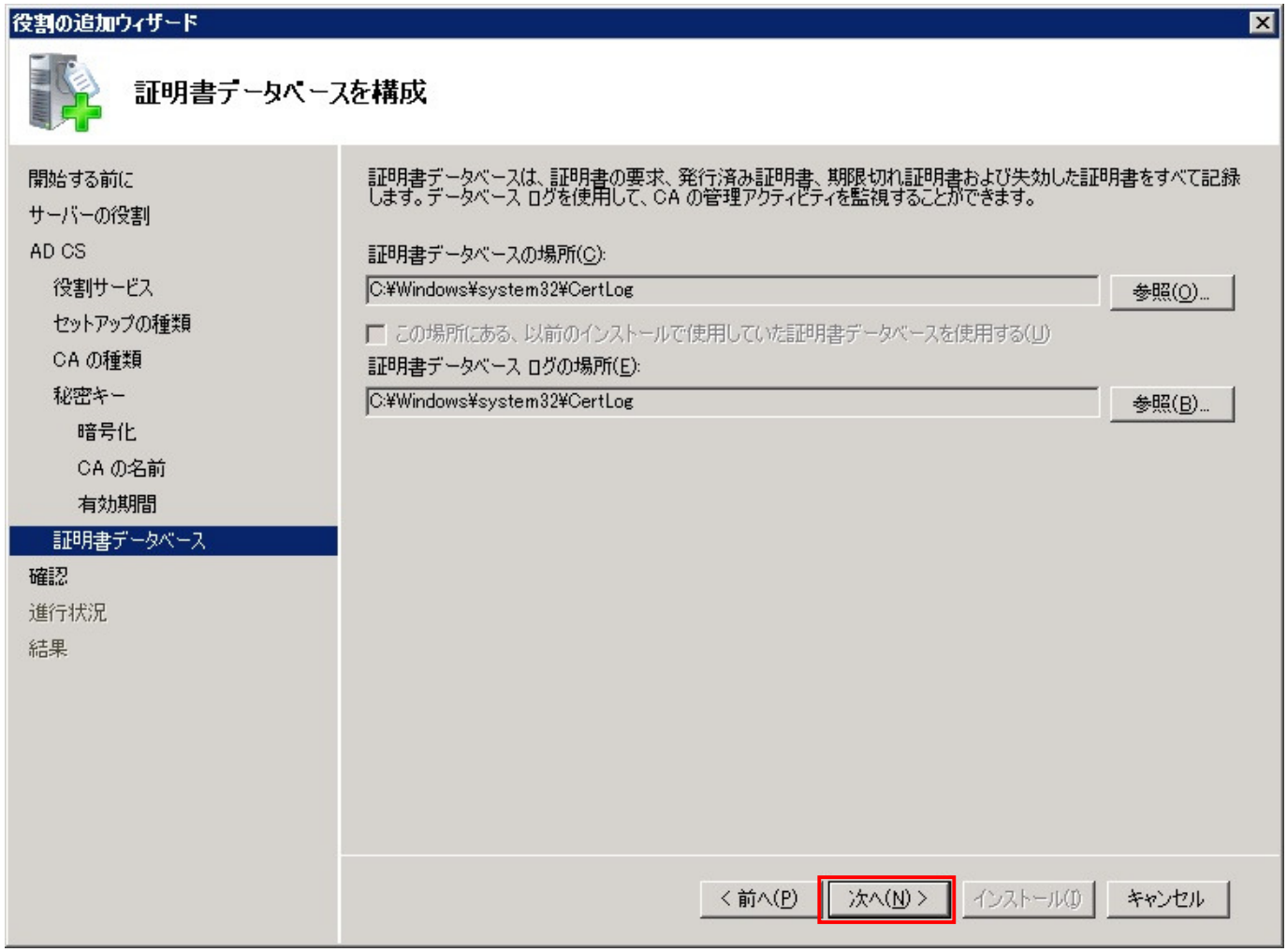
「新しい秘密キーを作成する」を選択し、「次へ」をクリックします。



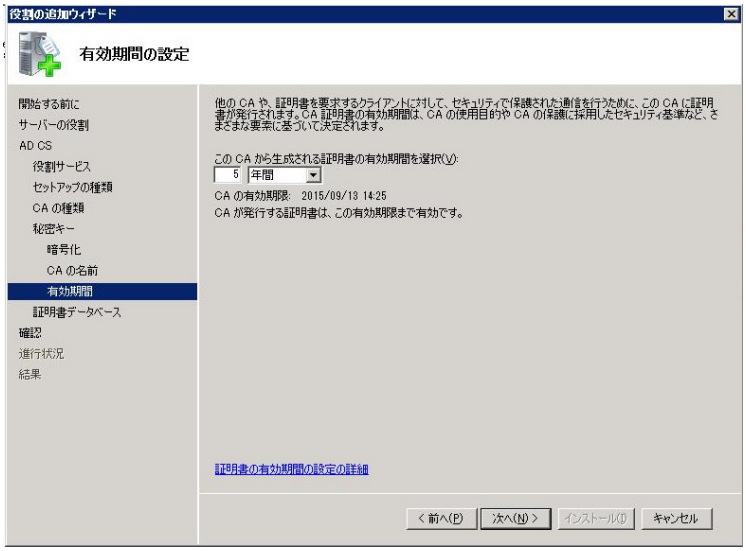
各設定項目はデフォルトのままで「次へ」をクリックします。



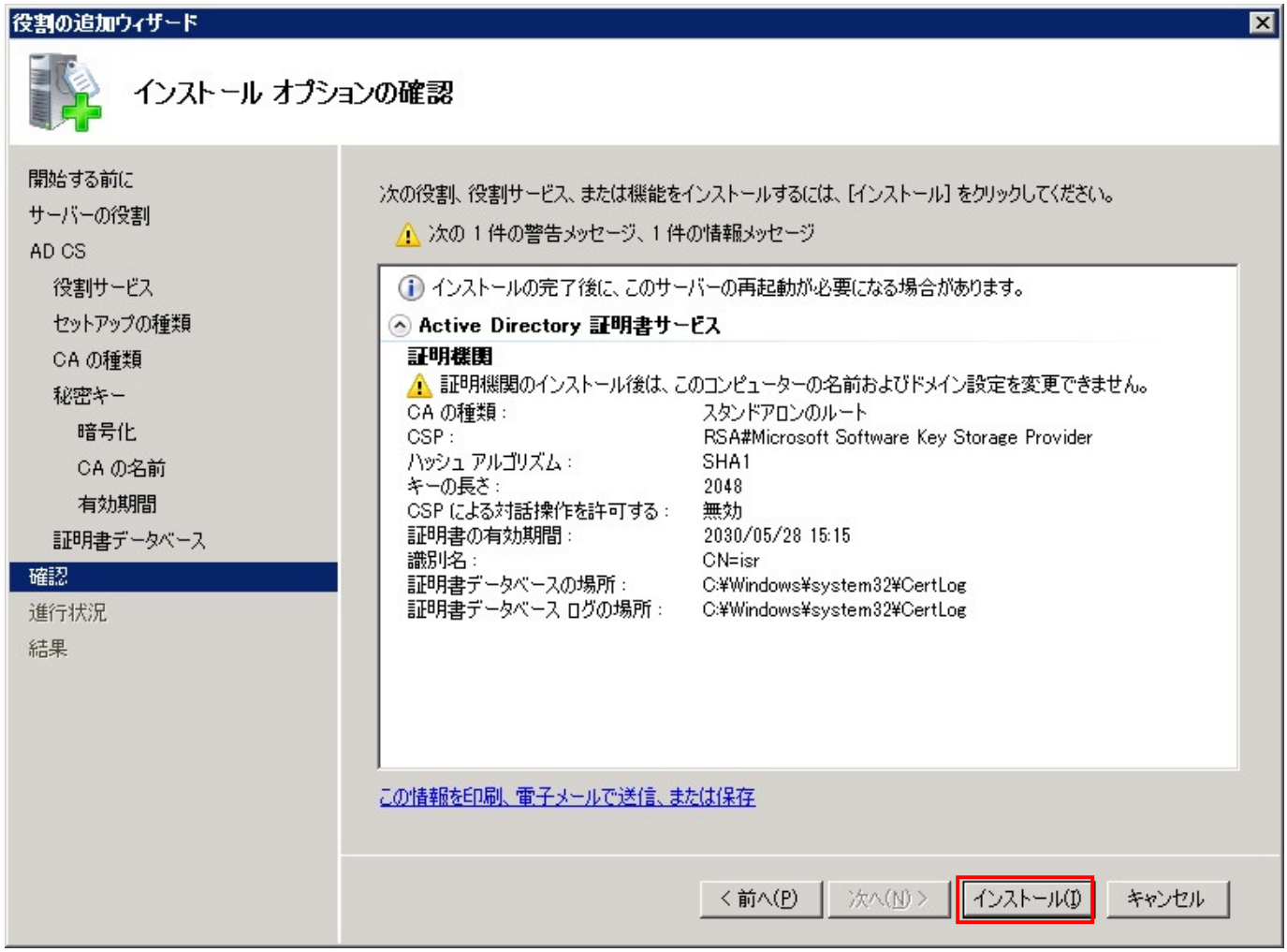
「この CA の共通名」に適当な名称を入力して、「次へ」をクリックします。



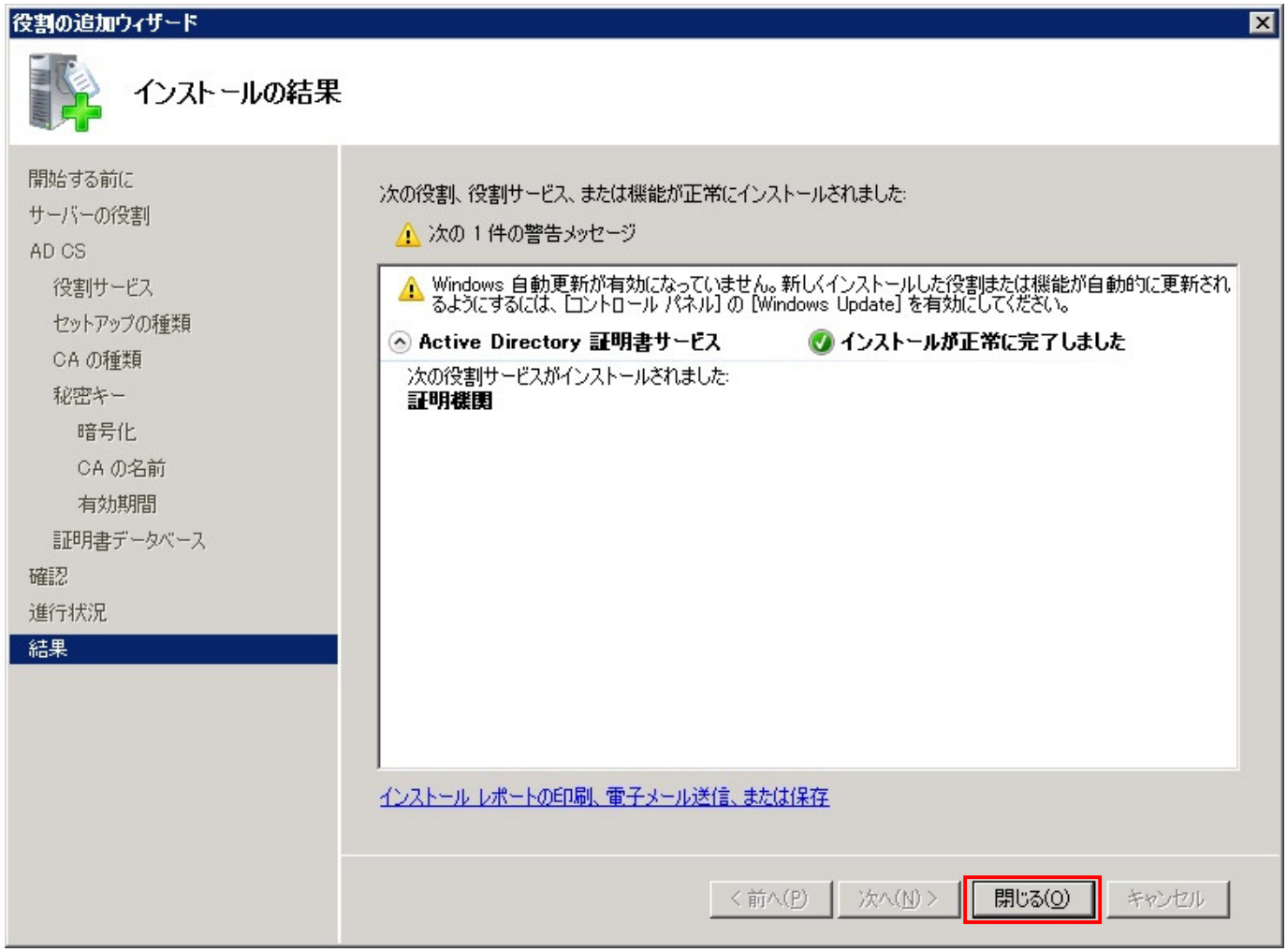
「次へ」をクリックします。



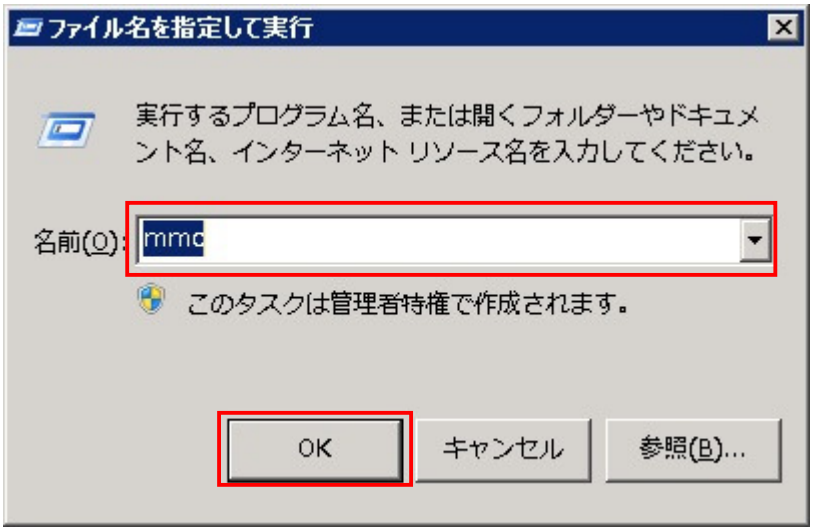
本設定を行なっても、期間が証明書に反映されない場合があることを確認出来ております。
その場合は、構築ベンダー様にご確認頂くか、デフォルトの期間のままで発行をお願いいたします。



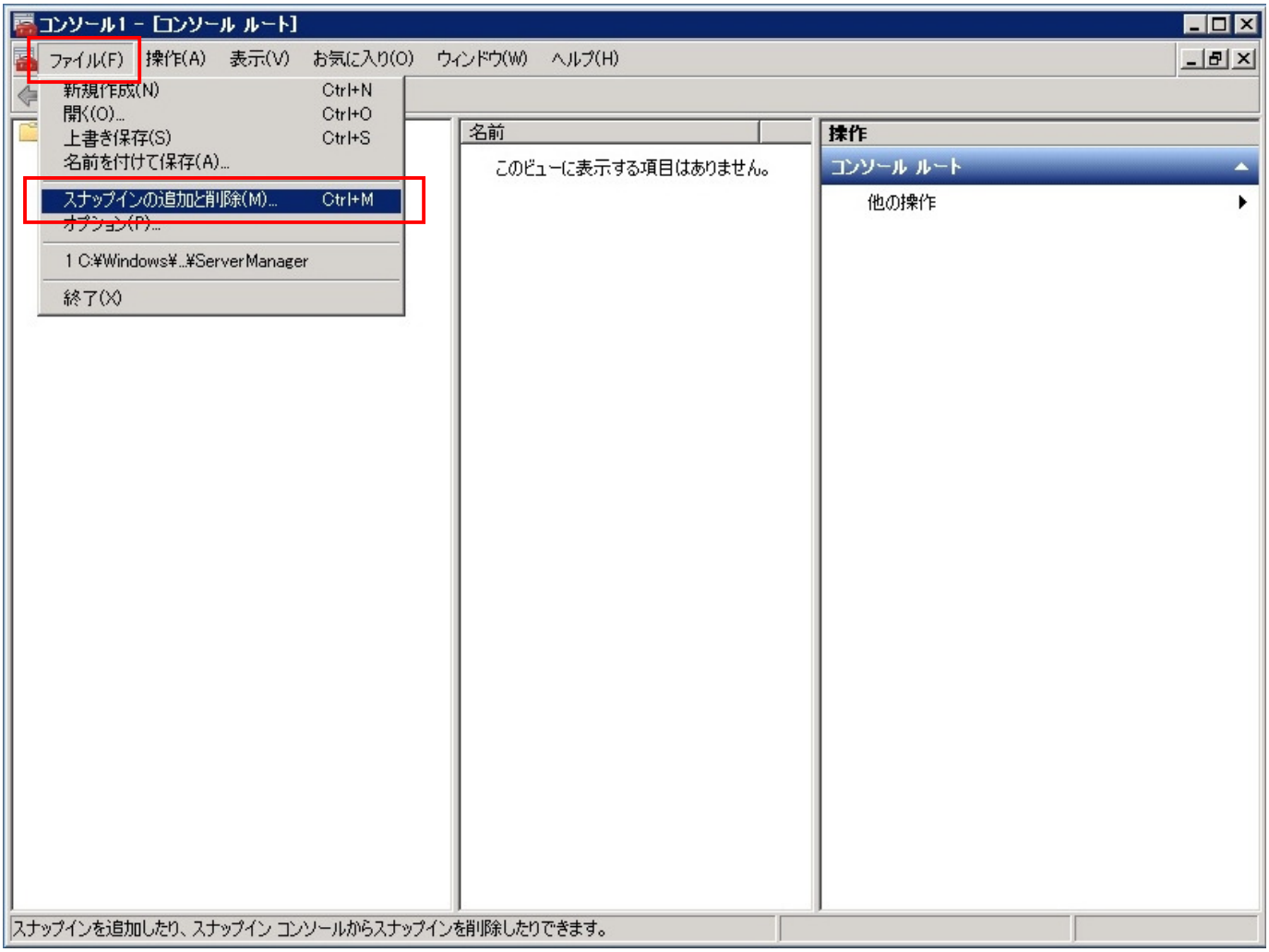
「インストール」をクリックします。



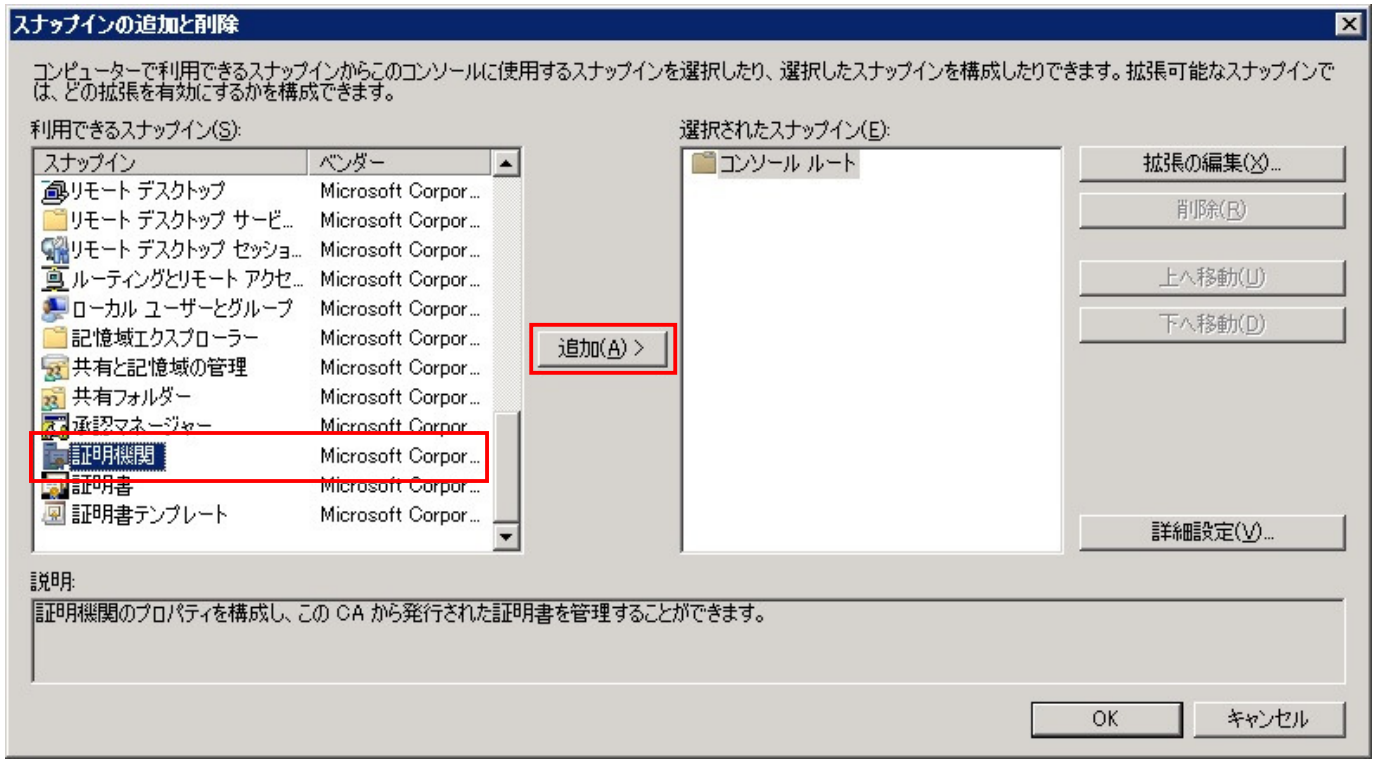
「閉じる」をクリックします。



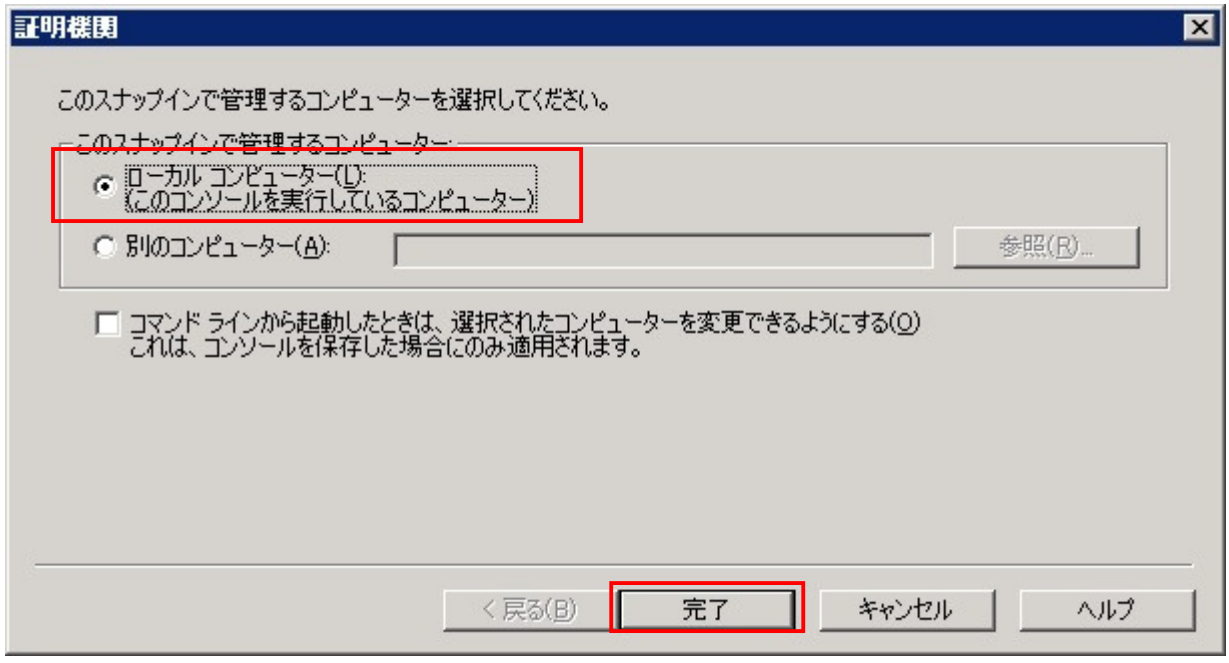
「ファイル名を指定して実行」で「mmc」と入力し、「OK」をクリックします。



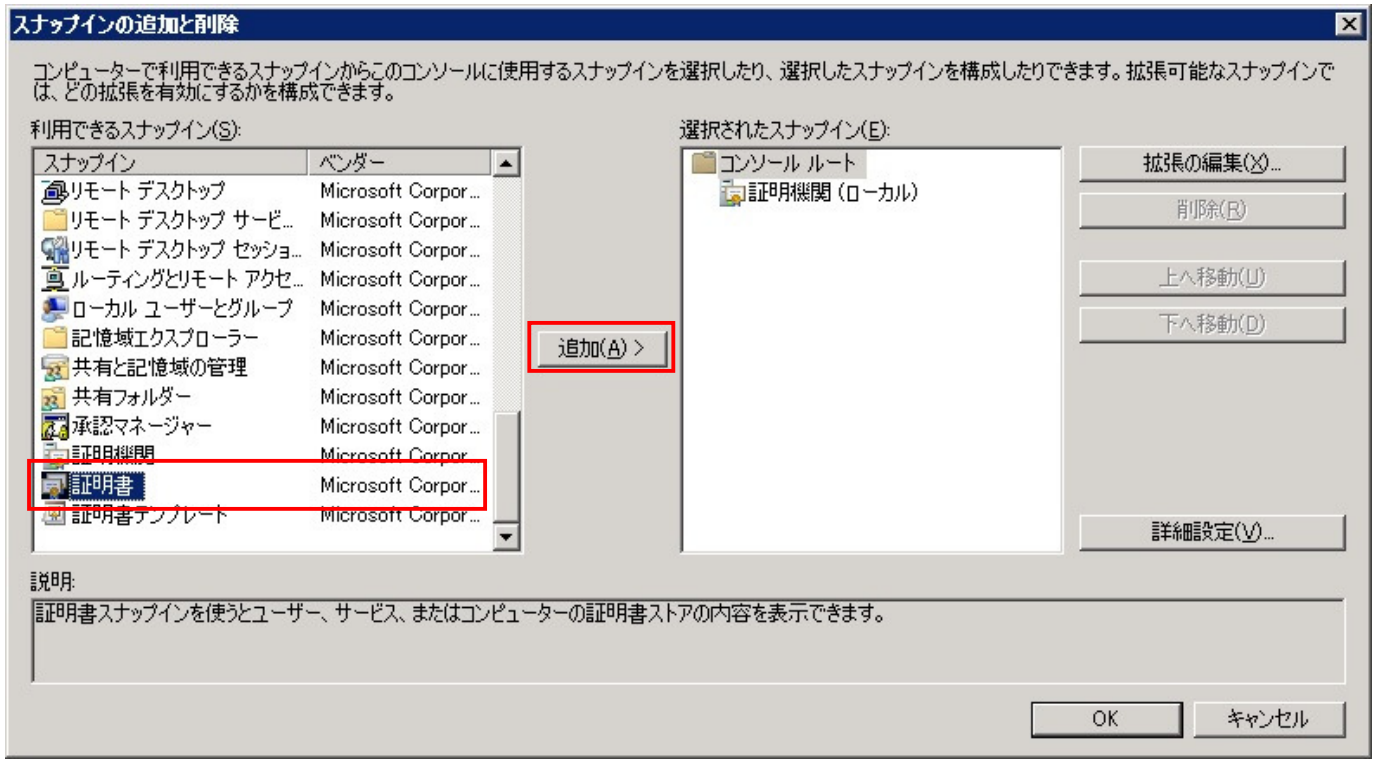
ウィンドウが開きますので、「ファイル」→「スナップインの追加と削除」をクリックします。



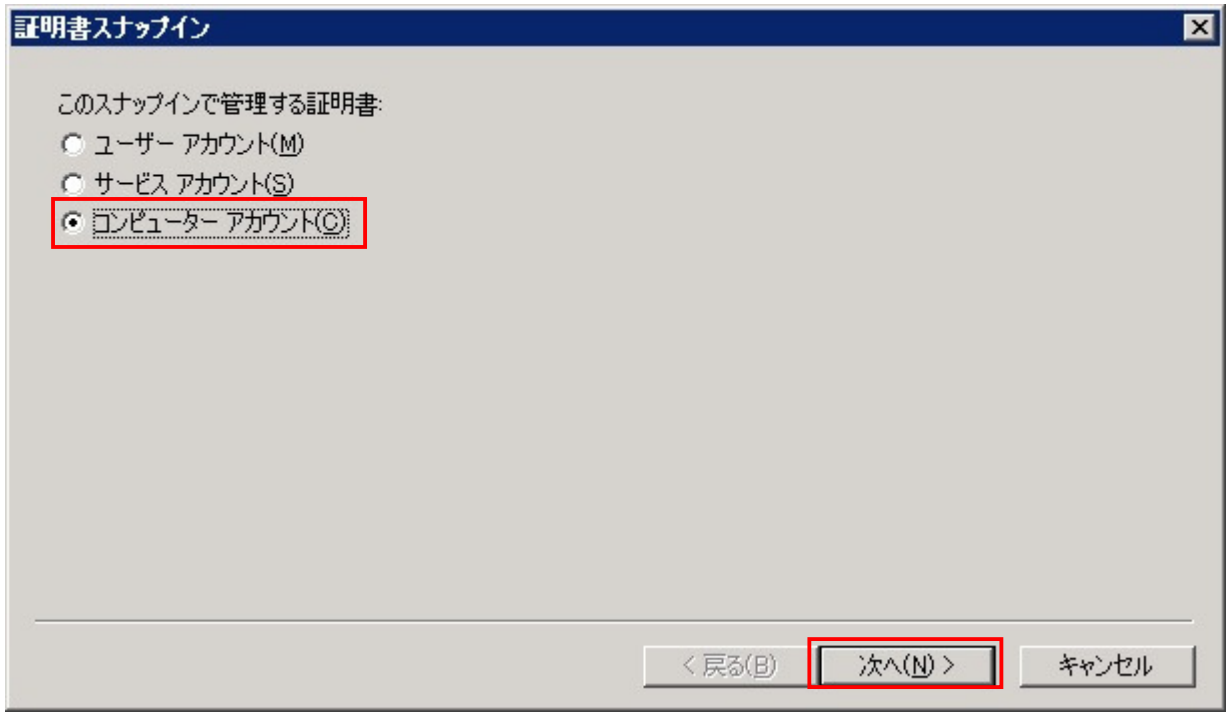
「証明機関」を選択し、「追加」をクリックします。



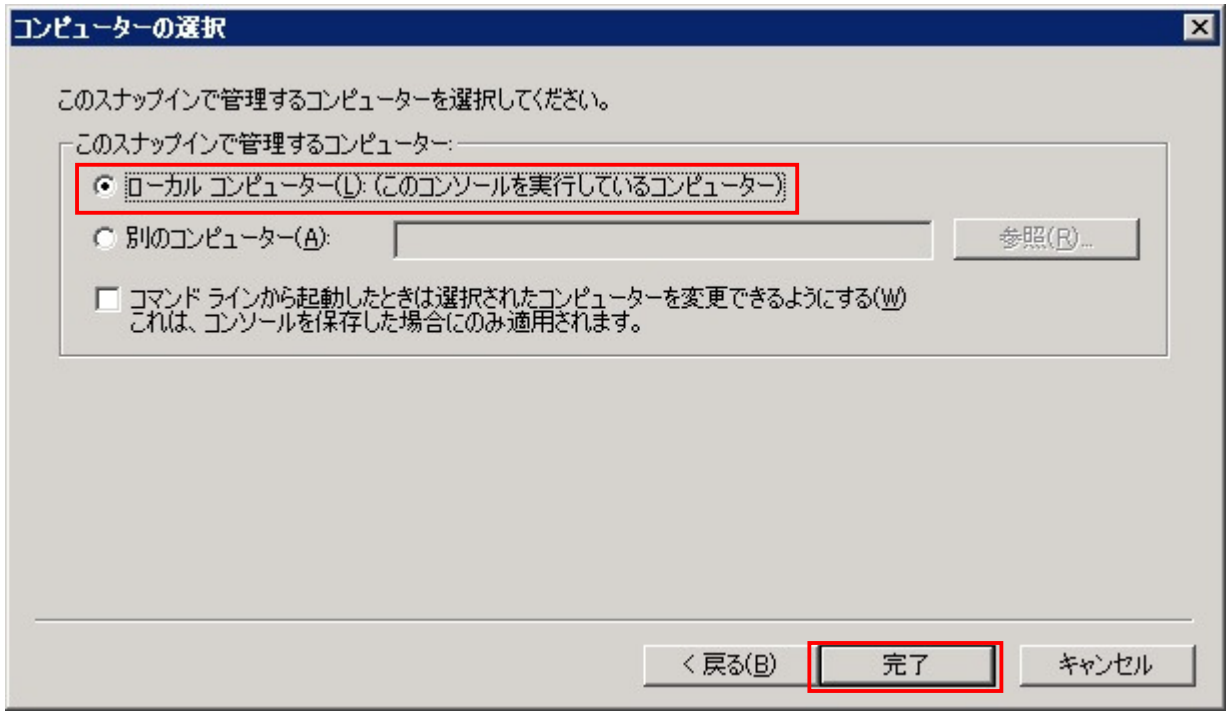
「ローカルコンピューター」を選択し、「完了」をクリックします。



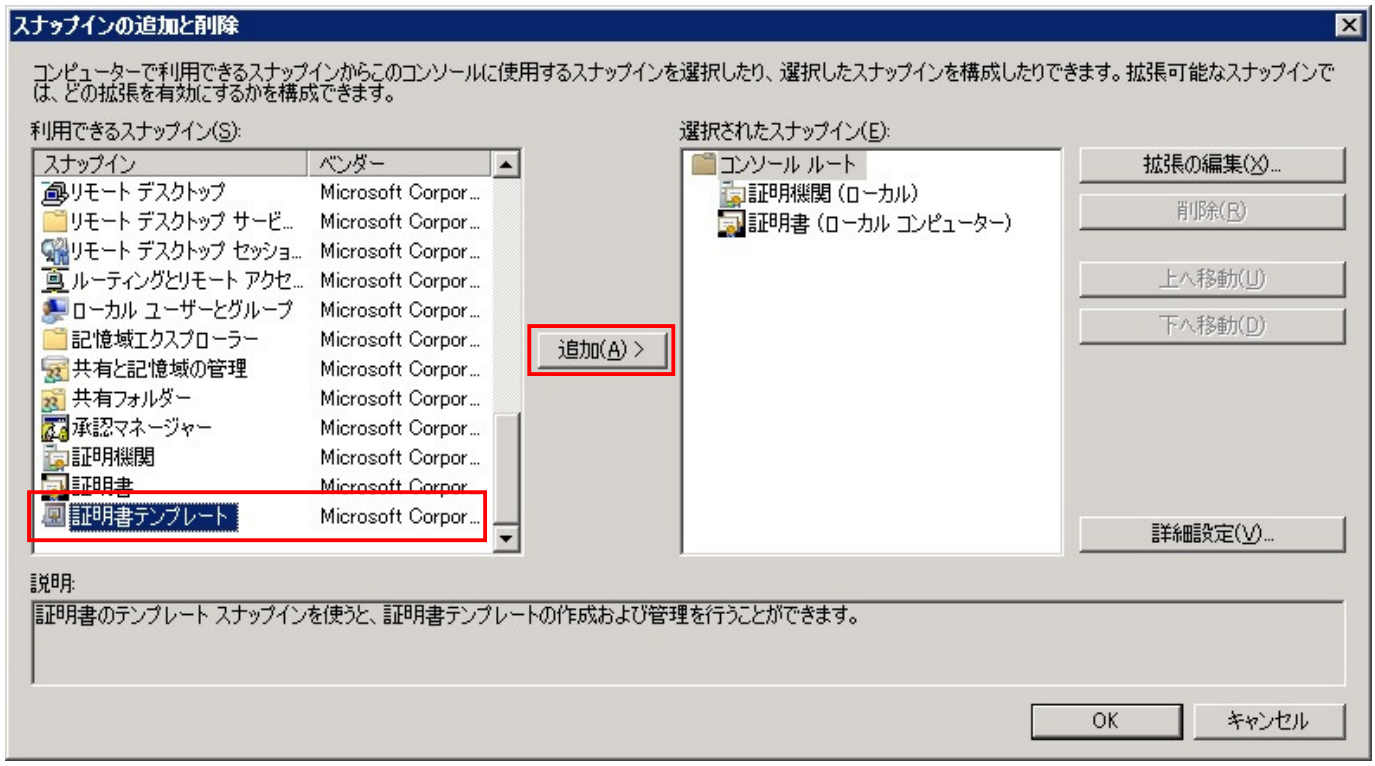
「証明書」を選択し、「追加」をクリックします。



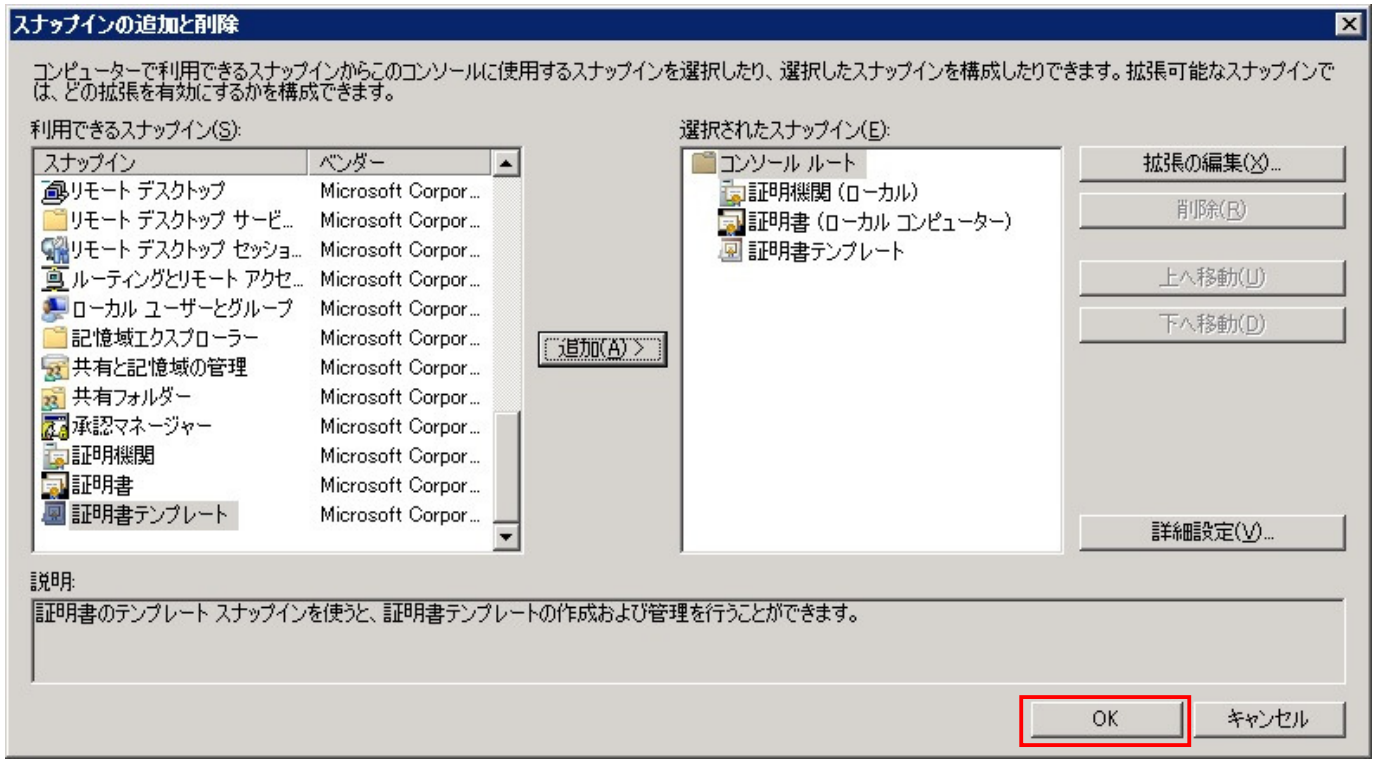
「コンピューターアカウント」を選択し、「次へ」をクリックします。



「ローカルコンピューター」を選択し、「完了」をクリックします。

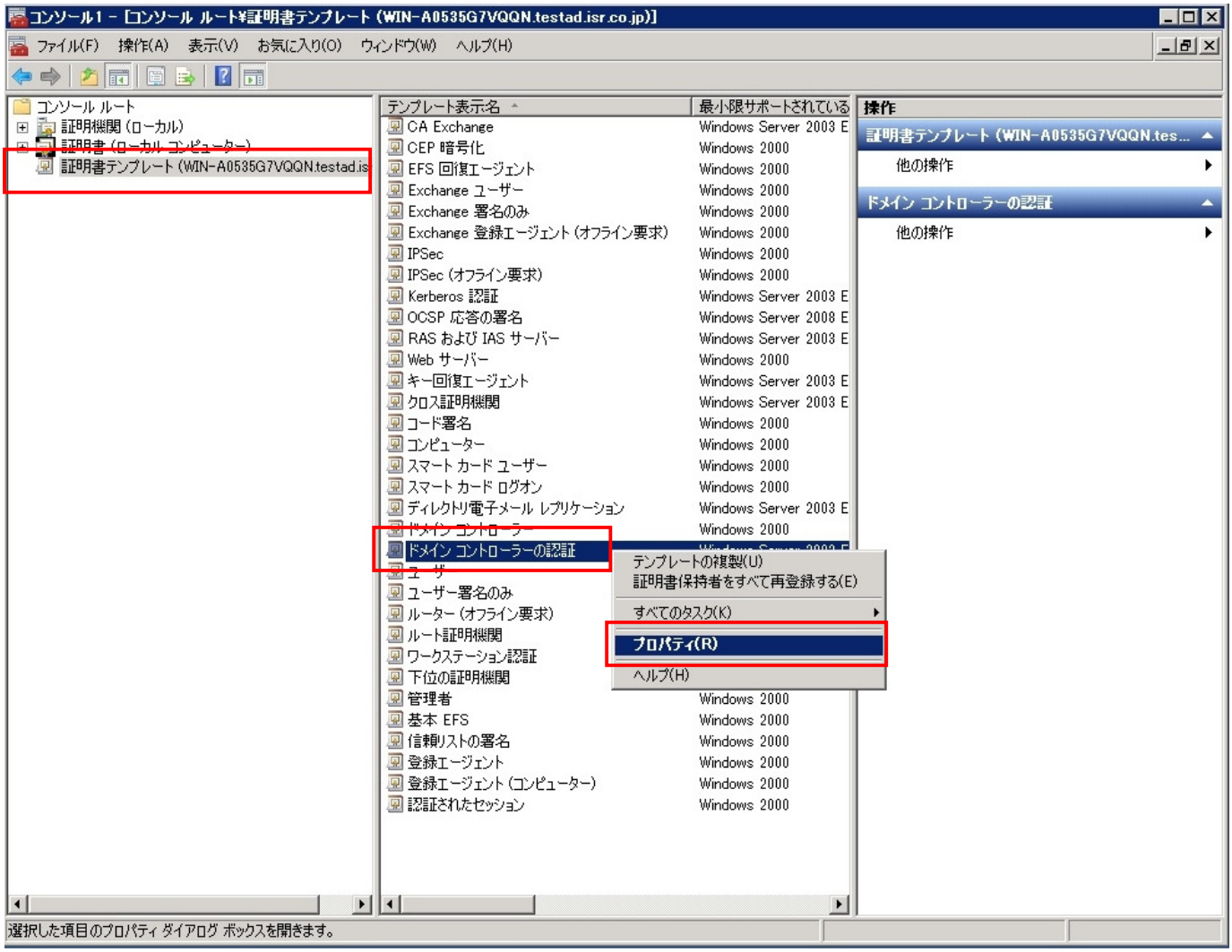


「証明書テンプレート」を選択し、「追加」をクリックします。

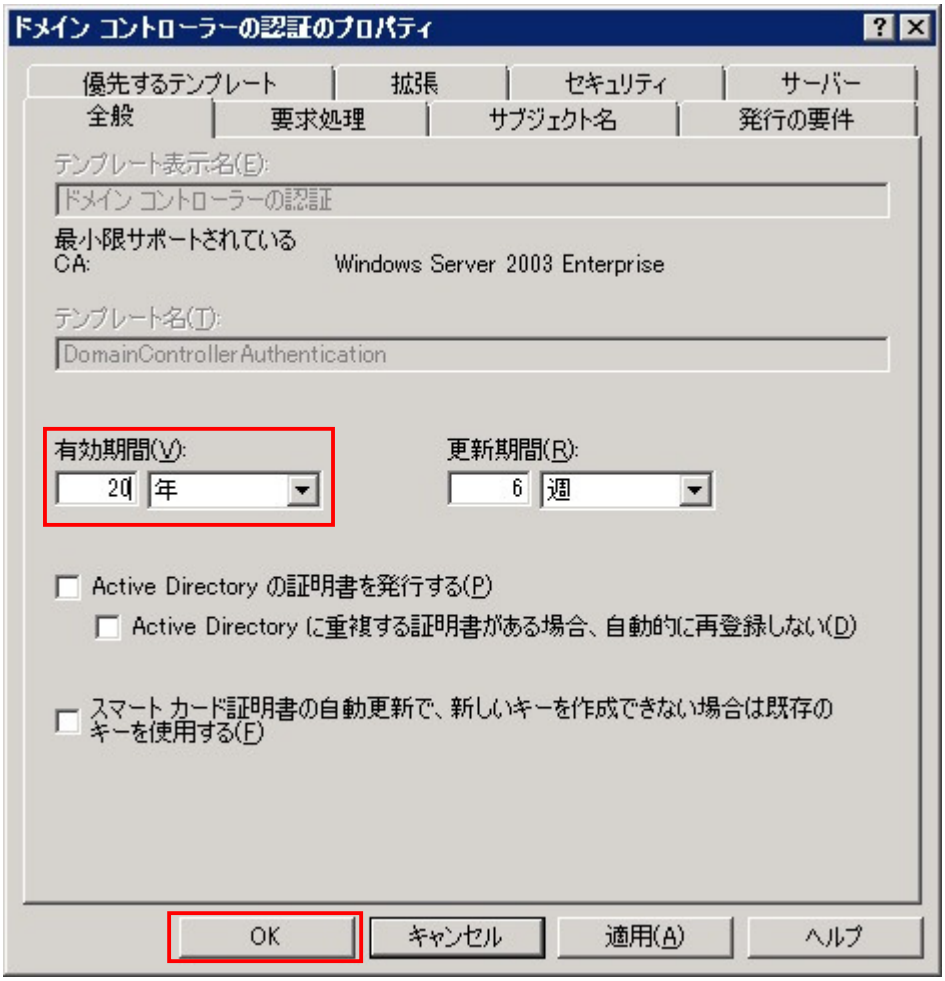


「OK」をクリックします。

2. 証明書の有効期限



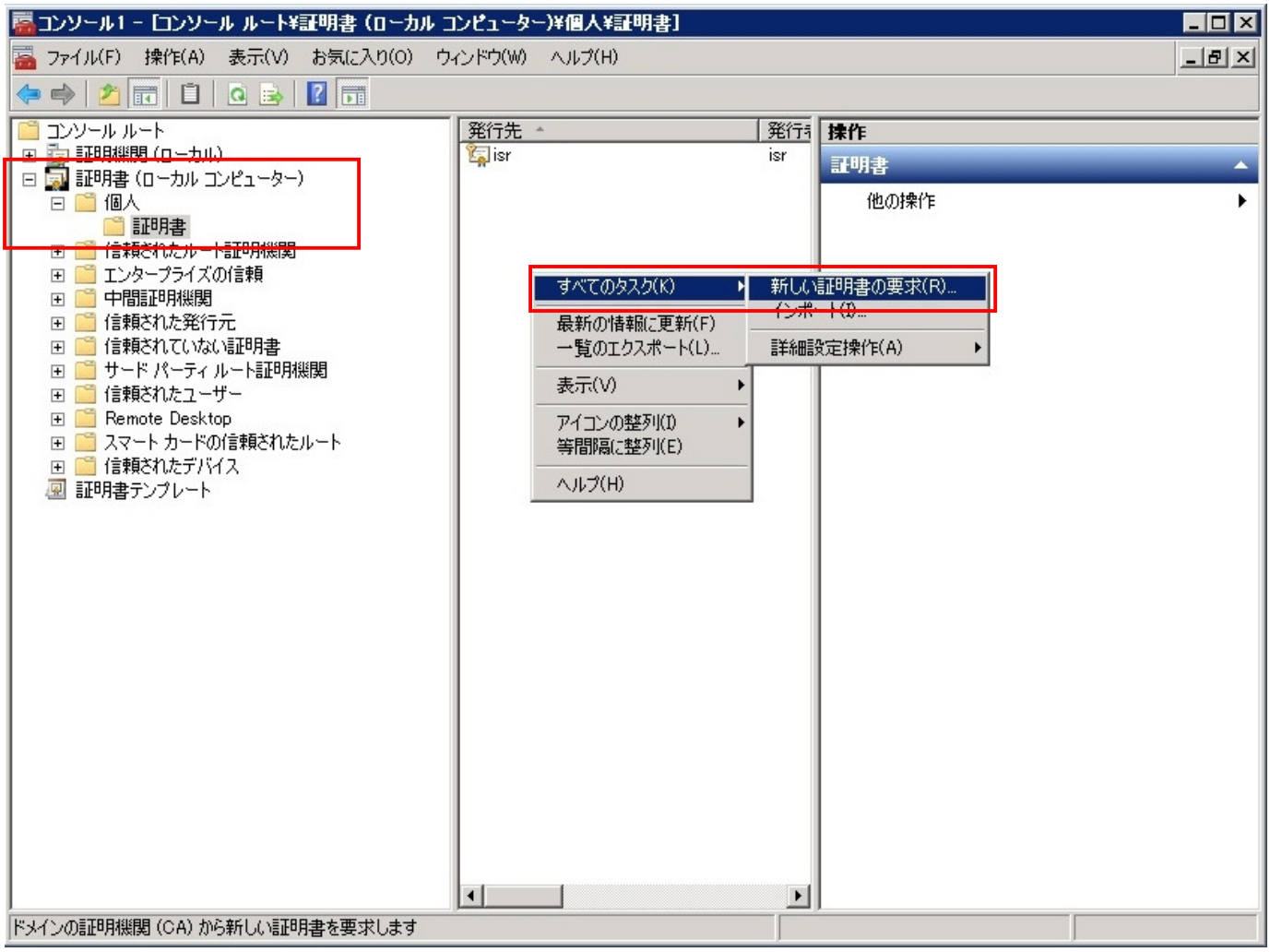
「証明書テンプレート」をクリックし、「ドメインコントローラの認証」で右クリックして、「プロパティ」を選択します。



「有効期限」を確認し、20 年などの長い期間に設定し、「OK」をクリックします。

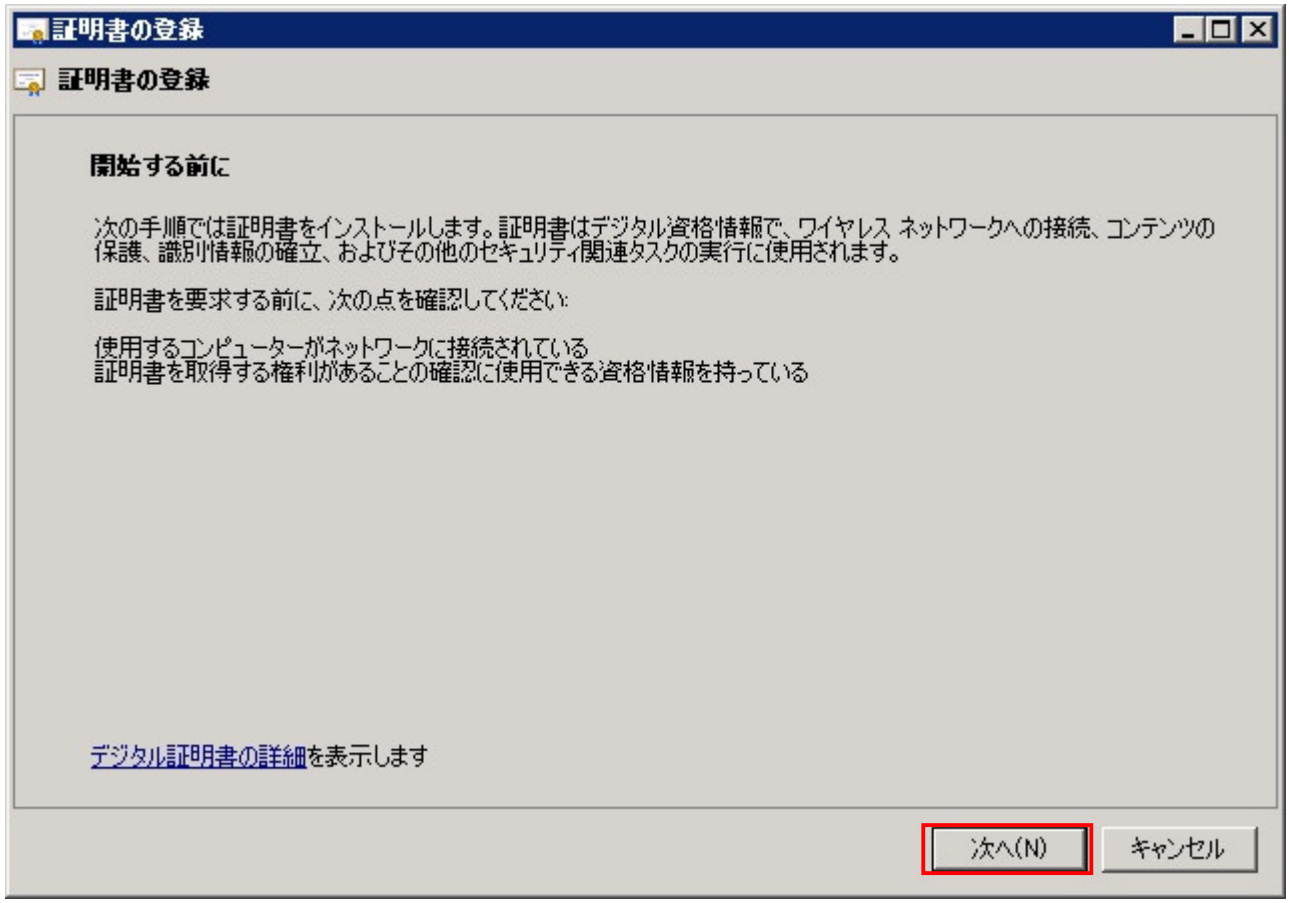
本設定を行なっても、期間が証明書に反映されない場合があることを確認出来ております。
その場合は、構築ベンダー様にご確認頂くか、デフォルトの期間のままで発行をお願いいたします。

3. 証明書の作成

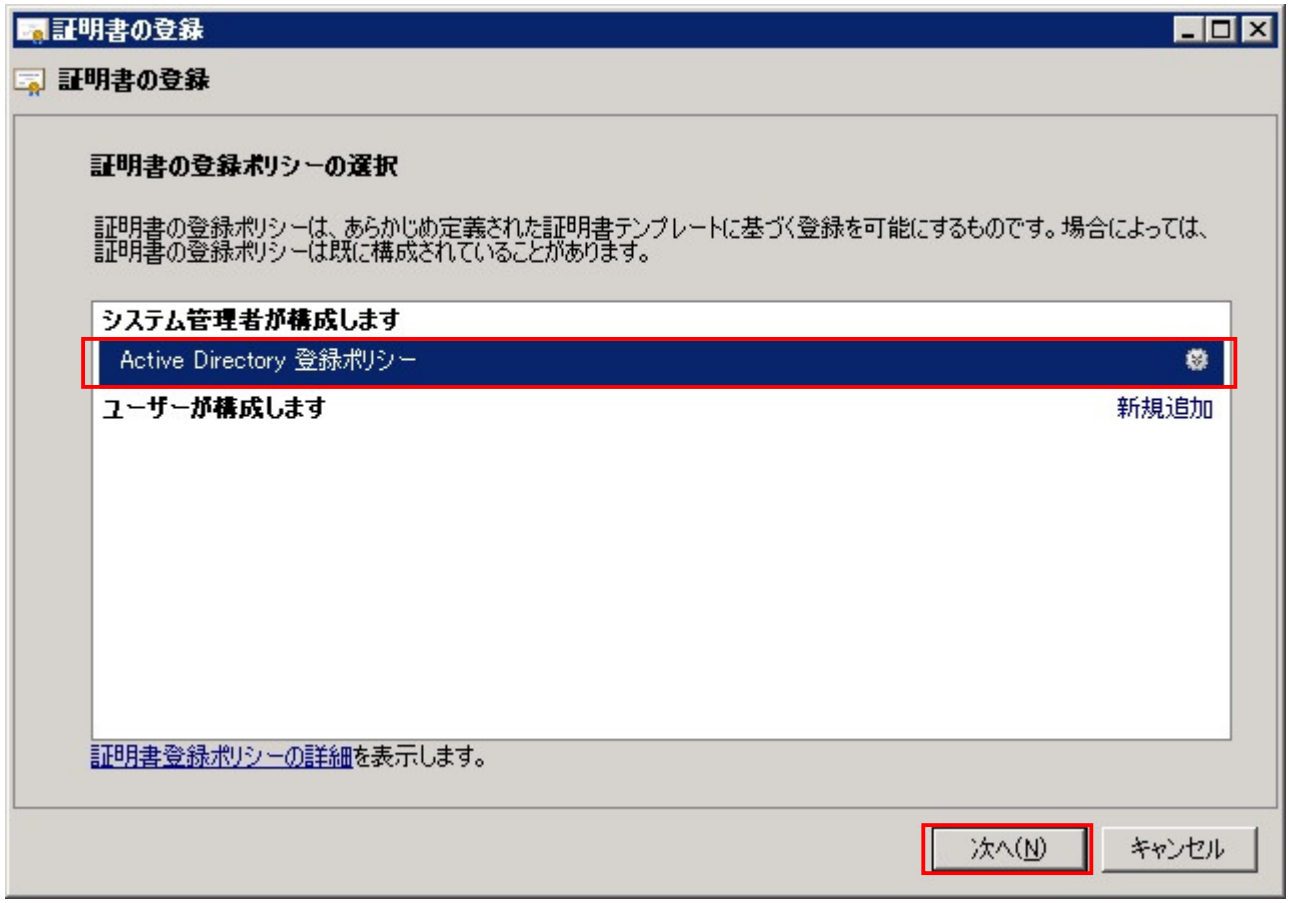


mmc の左ペインで「証明書」→「個人」→「証明書」を選択します。

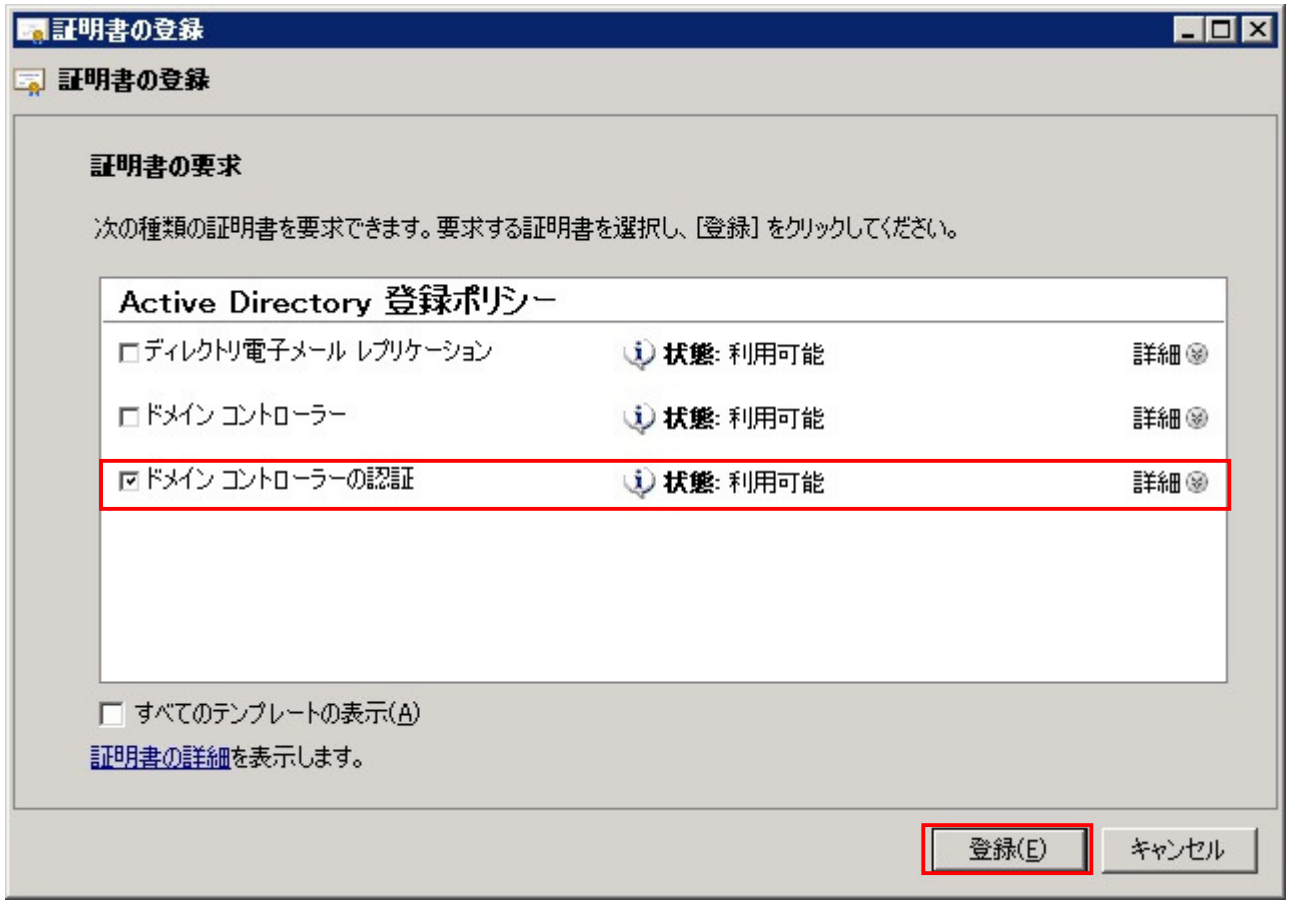
中央ペインの何もないところで右クリックし、「すべてのタスク」→「新しい証明書の要求」をクリックします。



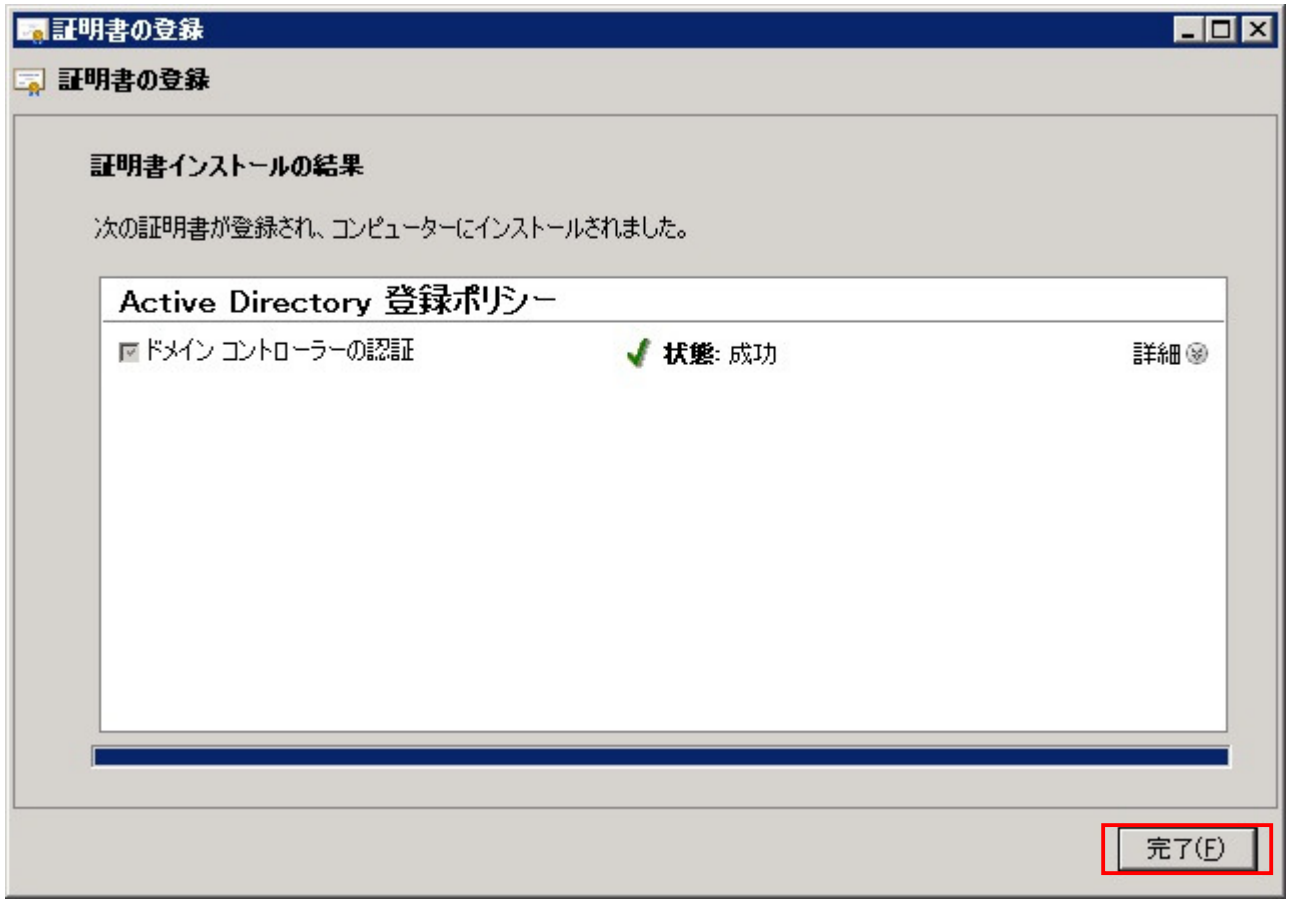
「次へ」をクリックします。



「Active Directory 登録ポリシー」を選択し、「次へ」をクリックします。

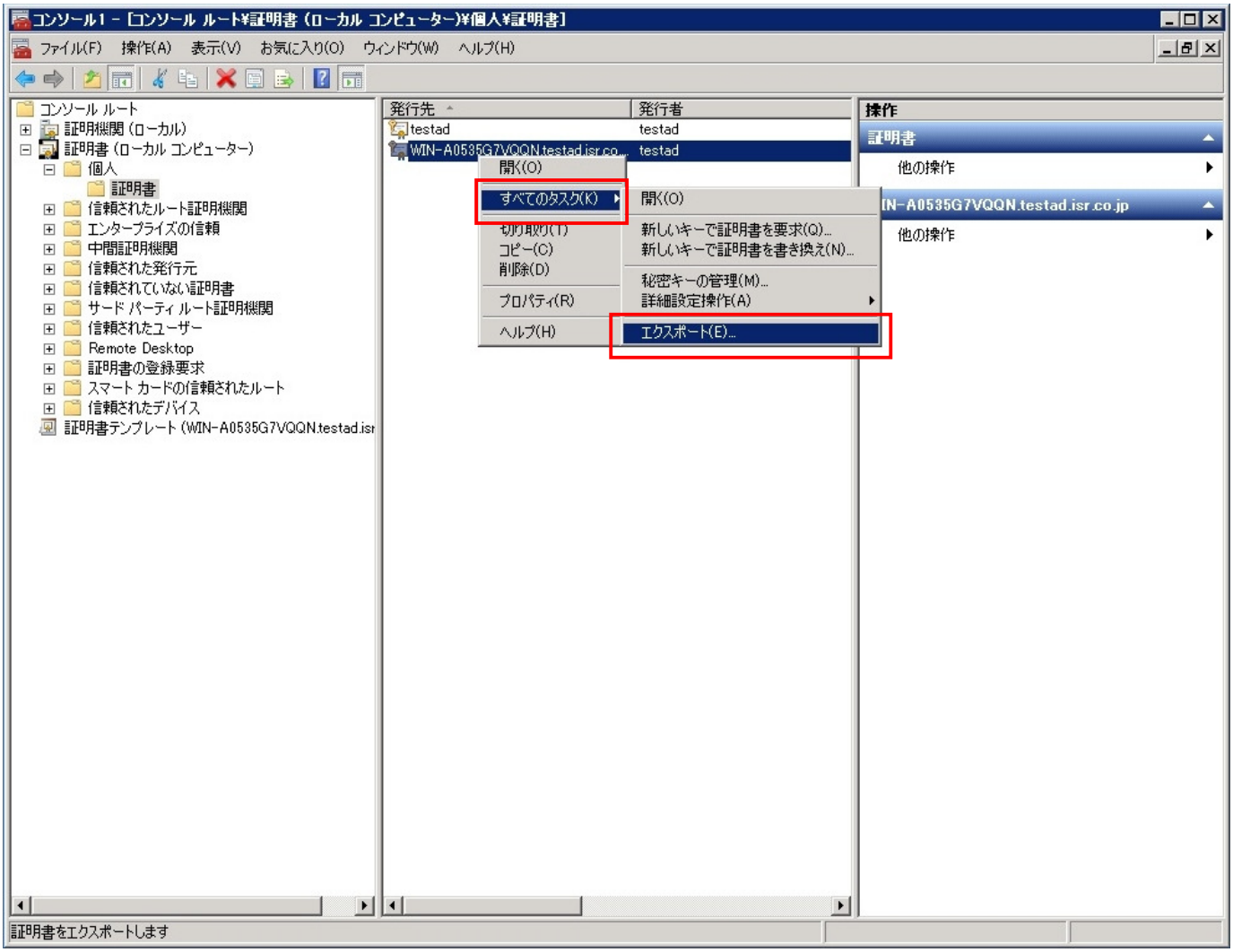


「ドメインコントローラの認証」を選択し、「登録」をクリックします。

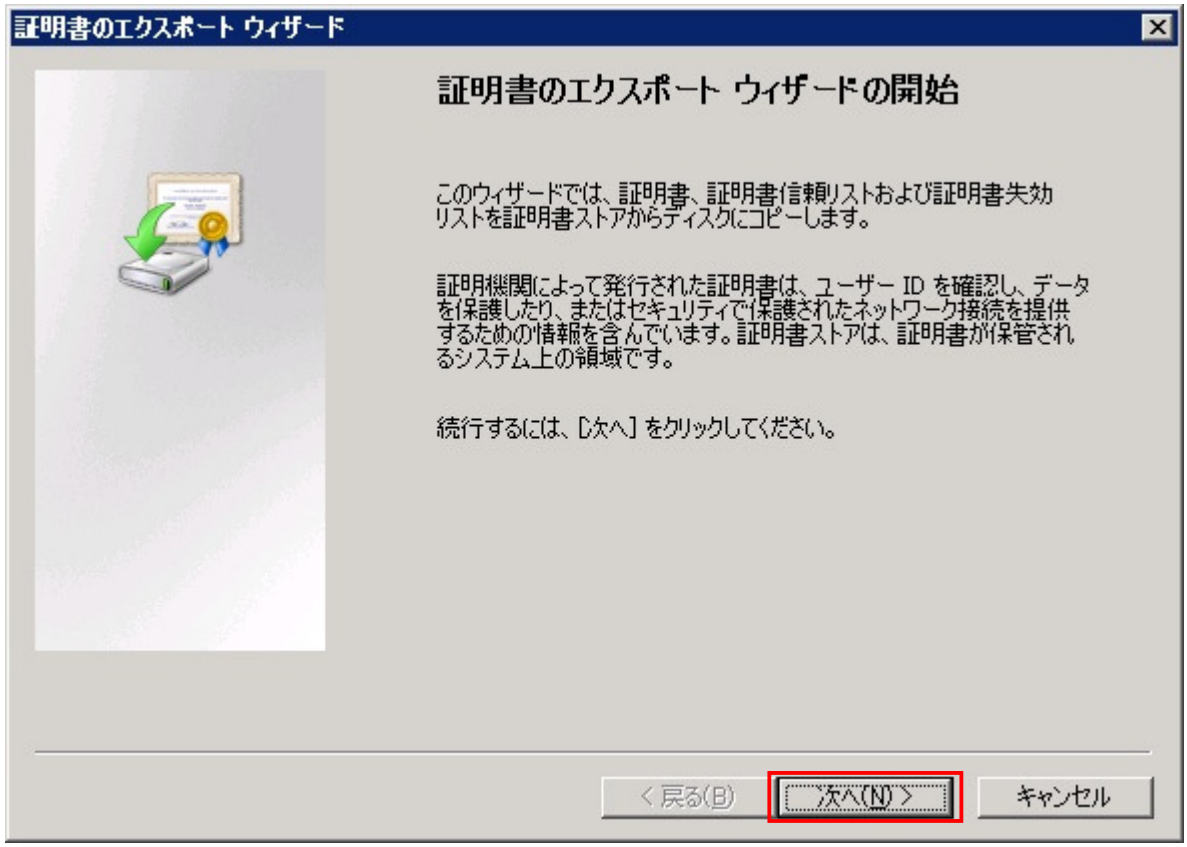


「完了」をクリックします。

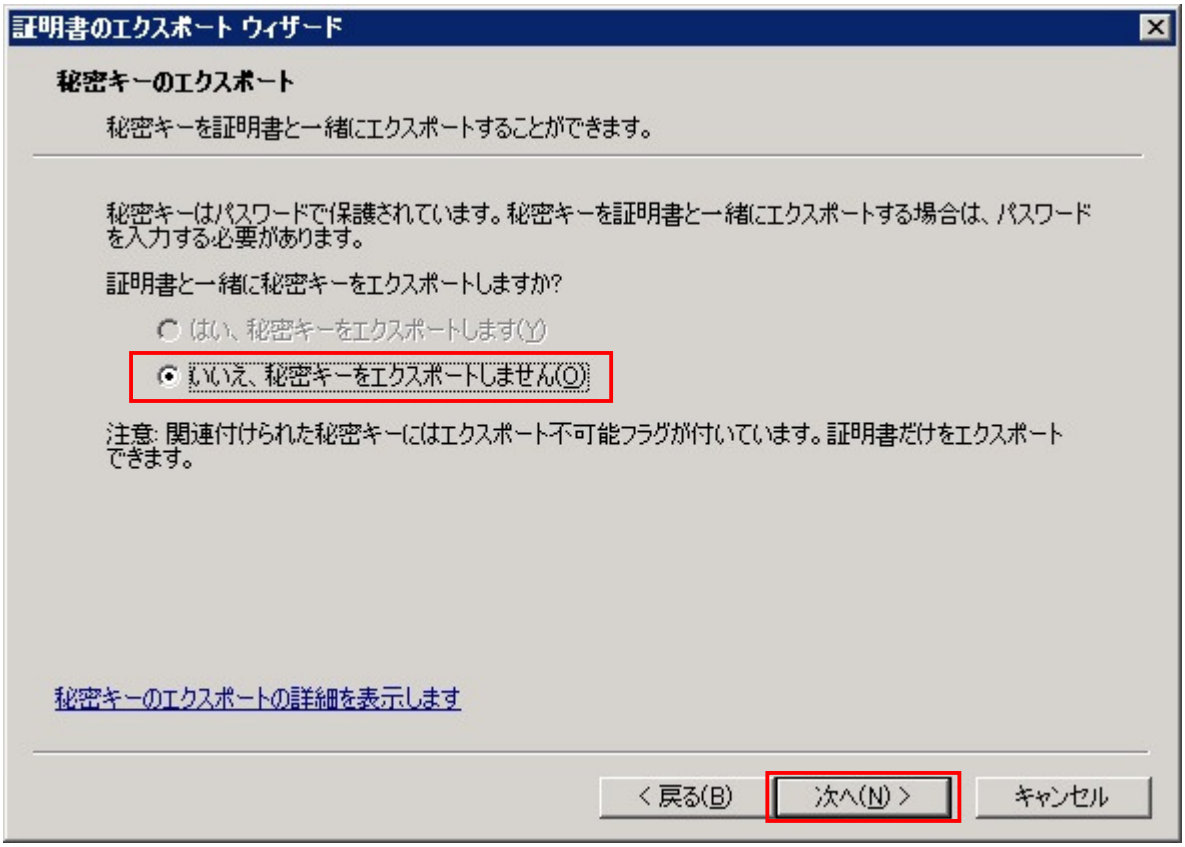
4. 証明書のエクスポート



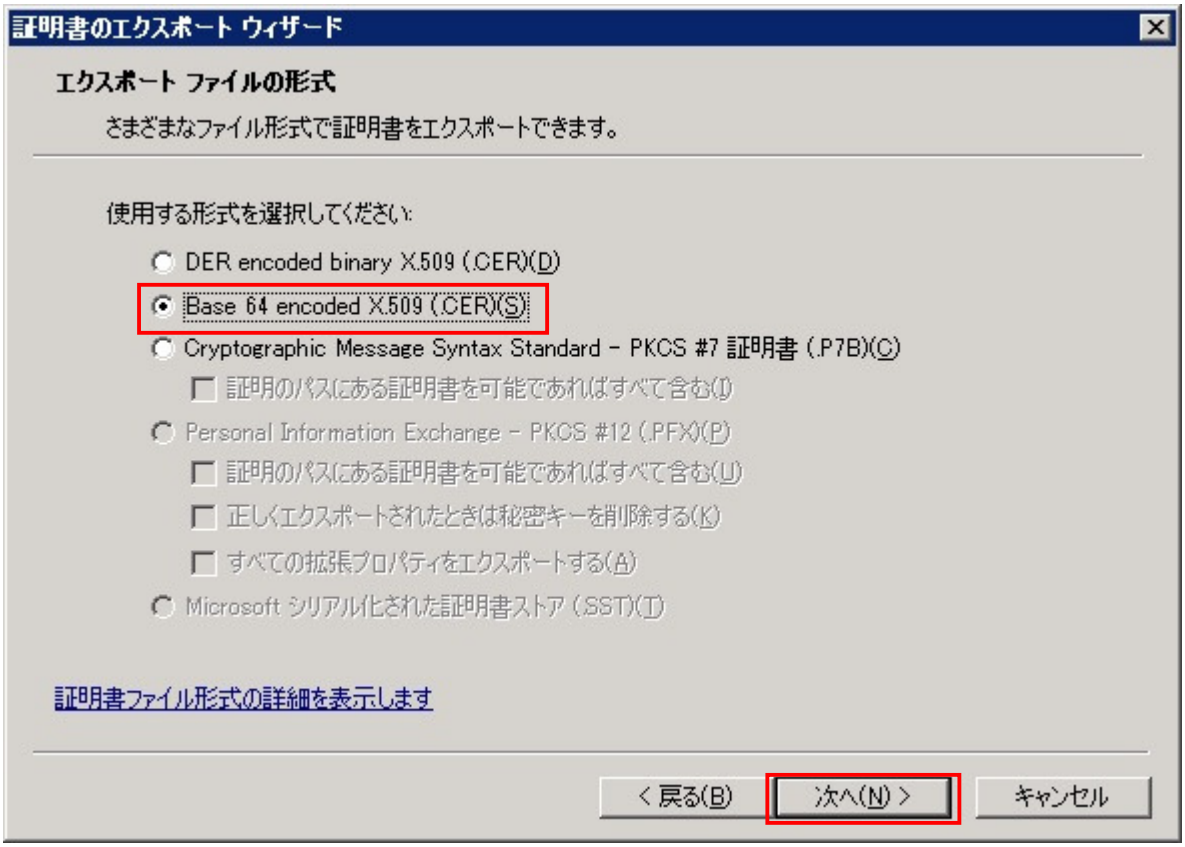
中央ペインで今作成したエクスポートする証明書を選択し、右クリックで表示されるメニューから、
「すべてのタスク」→「エクスポート」を選択します。



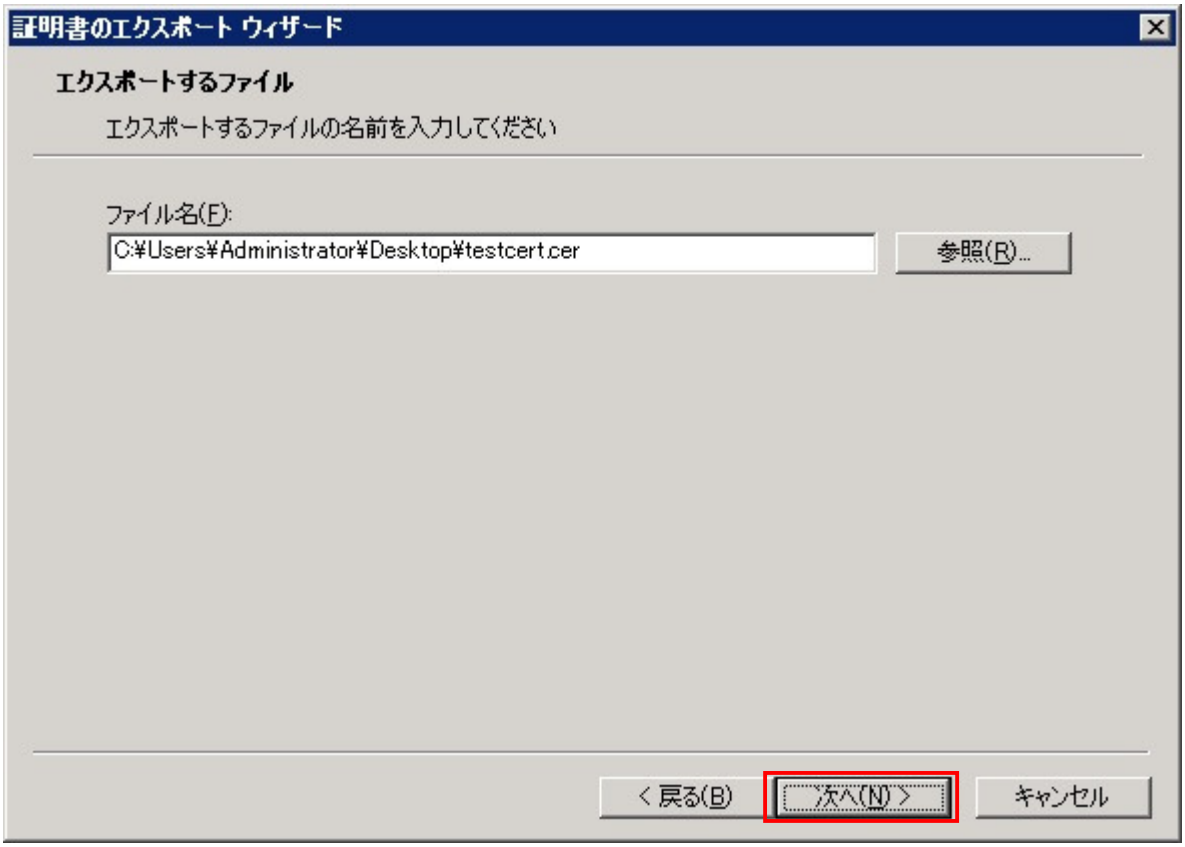
「次へ」をクリックします。



「いいえ、秘密キーをエクスポートしません」がチェックされていることを確認し、「次へ」をクリックします。

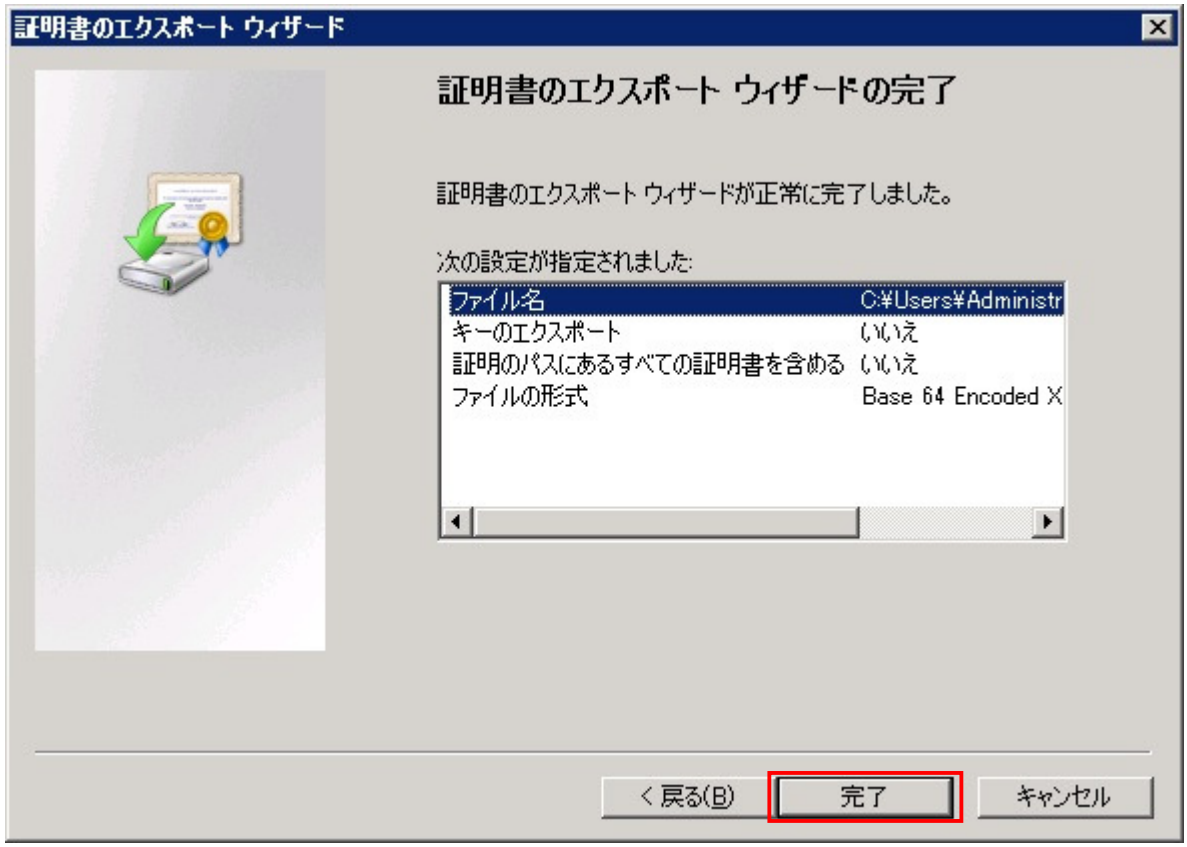


「Base64 encoded X.509（CER）」を選択し、「次へ」をクリックします。

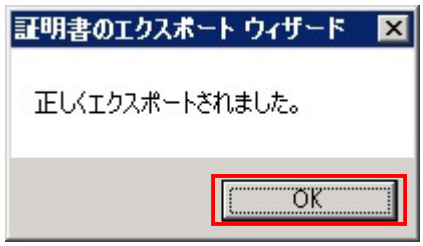


「ファイル名」を入力し、「次へ」をクリックします。

※ファイル名はなんでも構いません。



「完了」をクリックします。



「OK」をクリックします。

参考:証明書の内容